

令和8年度(2026年度) 第1回

八王子市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会

次第

令和8年(2026年)5月25日(月)
午後2時00分～4時00分
八王子市役所 議会棟4階 第六委員会室

1. 開 会

2. 報 告

(1)第4期八王子市地域福祉計画 令和7年度の主な取組実績について

3. 議 題

(1)第4期八王子市地域福祉計画中間見直しの方向性について

4. その他

5. 閉 会

【配付資料】

- ・第4期八王子市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員名簿(令和8年4月1日時点)
- ・令和8年度(2026年度)地域福祉専門分科会 年間予定表
- ・【資料1-1】 第4期八王子市地域福祉計画 令和7年度の主な取組実績について
- ・【資料1-2】 第4期地域福祉計画 令和7年度実績一覧【とりまとめ】実績報告調査票
- ・【資料2】 第4期八王子市地域福祉計画推進の方向性について

第4期 八王子市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会

委員名簿

(任期:令和6年(2024年)4月～令和9年(2027年)3月)

令和8年(2026年)4月1日現在

氏名	ふりがな	所属
石井 修一	いしい しゅういち	八王子市町会自治会連合会
上村 晃一	かみむら こういち	市民委員(市内在住で15歳以上)
黒岩 亮子	くろいわ りょうこ	学校法人 日本女子大学
齋藤 健	さいとう たけし	特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会
島崎 誠	しまざき まこと	八王子市民生委員児童委員協議会
下島 宏文	しもじま ひろふみ	市民委員(市内で企業を経営)
西田 佳子	にしだ よしこ	社会福祉法人 八王子市社会福祉協議会
丸山 颯姫	まるやま さつき	市民委員(市内の大学等に在学中)
室田 信一	むろた しんいち	公立大学法人 東京都立大学
山下 晋矢	やました しんや	一般社団法人 八王子市医師会

<市職員>

氏名	ふりがな	所属
菅野 匡彦	かんの まさひこ	福祉部長
櫻田 ひかり	さくらだ ひかり	生活福祉担当部長
元木 博	もとぎ ひろし	福祉政策課長
白石 利和	しらいし としかず	高齢者いきいき課長
安岡 昭司	やすおか しょうじ	障害者福祉課長
原 清	はら きよし	生活自立支援課長
中山 あずさ	なかやま あずさ	健康医療政策課長
志村 慶太	しむら けいた	健康づくり推進課長
中正 由紀	なかしょう ゆき	子どものしあわせ課長

第4期八王子市地域福祉計画 令和7年度の主な取組実績について

令和8年（2026年）5月25日
地域福祉専門分科会
福祉部福祉政策課

**地域福祉を推進する
しくみの充実
(地域のつながり)**

1-1-1 1-2-2 「学びの機会」の提供・多様な居場所の充実

はちまるファームとは？

もやもやしたり、行き詰ったり、人間関係につまずいたときに…
 ちょっと立ち止まり、心安らげる場所
 ゆっくり、のんびり、焦らずに、その人らしいペースで活動できる場所

活動のハードルが低く、
 誰でも気軽に
 参加できる場があれば…

社会参加
 の場

コミュニケーションが
 生まれる場

はちまるファーム

その人の
 ペースで
 できる活動



地域のつながり
 計画 (P.66ほか)

八王子市社会福祉協議会 100周年プレゼント 令和7年度 地域共生のまちづくり推進セミナー

あなたをひとりじゃない

—助けてと言えるまち八王子—

自分の住むまちを、
 人と人とでつなげよう

自分ができることをする
 それが地域のためになります

第1部 講演 講師:奥田 知志氏 NPO法人抱核理事長・東八幡キリスト教会牧師

令和8年2月28日(土) 13:30~16:00
 クリエイトホール 会場定員150名(オンライン同時開催)

第2部 パネルディスカッション
 (登壇者:株式会社スーパーアルプス・おかえり喫茶・まほうのほうき・社協CSW)

☐参加費無料 ☐てくぽ 対象 ☐手話通訳・要約筆記対応

主催:八王子市社会福祉協議会 支えあい推進課

問い合わせ:042-649-8477 詳細・お申込みは社協HPへ



関連指標	現状値(策定時)	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度目標	令和11年度目標
地域共生のまちづくり推進フォーラムの参加人数	270人/年	206人/年	225人/年	400人/年	500人/年
はちまるファームの数	1か所(新規)	2か所	2か所	2か所	3か所

1-1-3 ボランティアセンター等による多様な参加支援

移転・複合化による社会参加機能の充実（令和7年度～）

地域のつながり
計画（P.70）

シルバー人材センターと一体化して社会参加の機能を集約するとともに、相乗効果を生み出し、福祉の拠点としてボランティア活動と高齢者の就業を活発化させる。

R7.4.5 オープニングイベントの様子



関連指標	現状値 (策定時)	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和11年度 目標
ボランティアセンターでのマッチング件数	182件	175件	227件	250件	300件
ボランティアセンターで紹介できる参加先の数	延べ 120件	291件	295件	延べ280件	延べ300件
ボランティアセンターが発信するSNSの登録者数	389人	898人	1223人	740人	1,000人

1-1-5 孤独・孤立対策の強化

官民連携による居場所づくり「ことこプロジェクト」(令和7年度～)

(仮称) 八王子の暮らし・居場所・福祉を考えるプロジェクト

八王子市がこれまで新しく「つながり」を築く場をつくる活動をしています。そんな場をさらに広げ、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。



ワークショップ第1回
「いつもの暮らしと孤独・孤立～“場”の価値を考える～」
 日 8月30日(土) 13:00～16:30
 参加方法 事前に右記フォームよりお申込みください。
 申込期間 8月15日(金) 18:00～23:59
 会場 まち・なかギャラリーホール
 八王子市中央1-2-1 1F 3号室 無料
 主催 株式会社まちづくり八王子
 協 力 八王子市、八王子市社会福祉協議会、NTT東日本株式会社、東京西支店
 後援 八王子市、八王子市社会福祉協議会、NTT東日本株式会社、東京西支店
 申込先 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

このプロジェクトは、八王子市がこれまで新しく「つながり」を築く場をつくる活動をしています。そんな場をさらに広げ、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。

ことこワークショップ



#2 地域の企業との関わりを考える

「ことこ」プロジェクトは、八王子市の地域で、商店街について考えることを目的として、いろんな人たちが集まる場を創出します。いろんなことが実現できる新たな居場所をつくるプロジェクトです。今回は、そんな新たな「場」に個人や企業も関係なくみんなが集まって、「場」のことを考えるワークショップを開催します。地域の企業の方にもたくさん集まってほしいと思いますので、ぜひご参加ください！(もちろん、一般の方も参加いただけます)

2025年10月21日(火) 10:00～12:00

参加方法 事前に右記フォームよりお申込みください。
 申込先 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

会場 八王子市 保健所 401会議室
 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

このプロジェクトは、八王子市がこれまで新しく「つながり」を築く場をつくる活動をしています。そんな場をさらに広げ、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。

ことこワークショップ



#3 使いたい“場”のことを考える

「ことこ」プロジェクトは、八王子市の地域で、商店街について考えることを目的として、いろんな人たちが集まる場を創出します。いろんなことが実現できる新たな居場所をつくるプロジェクトです。今回は、そんな新たな「場」に個人や企業も関係なくみんなが集まって、「場」のことを考えるワークショップを開催します。地域の企業の方にもたくさん集まってほしいと思いますので、ぜひご参加ください！(もちろん、一般の方も参加いただけます)

2025年12月6日(土) 13:00～16:00

参加方法 事前に右記フォームよりお申込みください。
 申込先 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

会場 八王子市 保健所 401会議室
 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

このプロジェクトは、八王子市がこれまで新しく「つながり」を築く場をつくる活動をしています。そんな場をさらに広げ、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。

ことこワークショップ



#4 “ことこ”の未来を考える

「ことこ」プロジェクトは、八王子市の地域で、商店街について考えることを目的として、いろんな人たちが集まる場を創出します。いろんなことが実現できる新たな居場所をつくるプロジェクトです。今回は、これから本格的にオープンする「場」について、WSHを開催した日から関わってくださったみんなの思いや、ストーリーを振り返りながら、これから始まる「ことこ」について、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。

2025年 2月23日(月) 10:00～12:00

参加方法 事前に右記フォームよりお申込みください。
 申込先 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

会場 八王子市 保健所 401会議室
 八王子市社会福祉協議会 福祉推進課 0442100000 city.hachioji.hachioji.jp

このプロジェクトは、八王子市がこれまで新しく「つながり」を築く場をつくる活動をしています。そんな場をさらに広げ、みんなが安心して暮らすための居場所を創出します。

令和7年度に市民を交えた
 ワークショップを4回開催

市、社協、NTT東日本(株)東京西支店、(株)まちづくり八王子の共創による、
人や社会とのつながりに不安を感じる方が気軽に立ち寄れる居場所づくり

関連指標	現状値 (策定時)	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和11年度 目標
孤独・孤立対策支援 プラットフォームの数	新規	0か所	1か所 (プレオープン)	3か所	6か所

地域×人×福祉を結ぶ新たな「居場所」づくり(令和7年度～)

令和7年度第2回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

居場所の主な機能

課題を抱える住民と
つながりやすくなる
手段を持つ主体の
参画を推進

◆新たな「自分」と「仲間」をみつける居場所の整備

- ・交流・参加・学びと福祉が一体的に提供される拠点を整備
- ・孤独・孤立状態の方が社会とつながりやすくなる取組を民間と展開
- ・「興味」を通じて居場所で交流し、知識や経験、社会とつながりを獲得

◆潜在的な地域の「力」を社会に還元(中長期的な展開)

潜在的な「人財」を発見し、地域や地元企業などとマッチング

◆居場所内での福祉専門職による相談対応

福祉の総合相談窓口ができる機能を併設

人と地域、公的支援を結ぶ、
“つながり”創出の拠点

ひと×ひとを結ぶ

- ・ e-スポーツ×健康づくり
- ・ ワークショップ等の開催
(知る、学ぶ、体験する機会)
- ・ ゆっくり過ごす居場所 など

分野や年齢を問
わない、多様な
取組の実施

交流・学ぶ・
体験等の
参加機会



市と民間事業者
で共同運営の
協定を締結

専門支援
(福祉相談)

潜在的な
「力」の還元

ひと×福祉を結ぶ

- ・ はちまるサポートの設置
- ・ 福祉の相談対応
- ・ 生活課題の発見・早期支援
など

八王子市
官民連携プラットフォーム
(結びの拠点)



ひと×地域を結ぶ

- ・ 人材のマッチング
- ・ 人材育成(知識・技術取得)
- ・ 特技を生かす地域活動
など

※課題を抱える住民とつながりやすくなる
手段を持つ事業者の参画を推進

1-2-5 「市民力」「地域力」を活かした地域づくり

身近な異変を「はちまるサポート」につなぐ

地域のつながり
計画(P.74、84)

地域生活課題の早期発見・対応を目的とし、生活の中での「気づき」を
はちまるサポートにつなぐ「はちまるサポーター」を登録(13か所のはちまるサポートで募集)

令和7年度の取組

○ 登録説明会

- ・開催回数:10回(10か所のはちまるサポートで実施)
- ・登録人数:29名

○ 研修・交流会

- ・開催回数:5回 ・参加人数:38名
- ・研修テーマ:サポーターの地域活動相互紹介、社会保障ゲーム(講義)、成年後見学習会など

関連指標	現状値 (策定時)	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和11年度 目標
はちまるサポーターの 登録人数	10人	146人	172人	115人	210人

※登録人数は累計によるカウント

人材の育成・支援・活用 (人材のつながり)

2-2-3 福祉関係者などの分野横断的な“つながり”強化

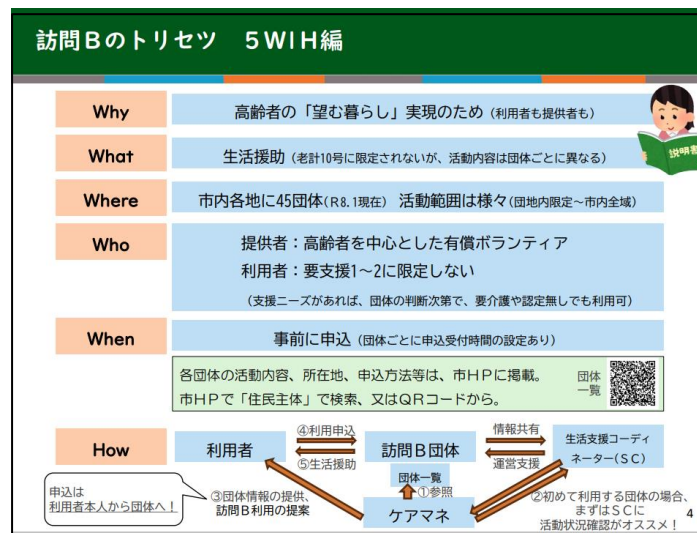
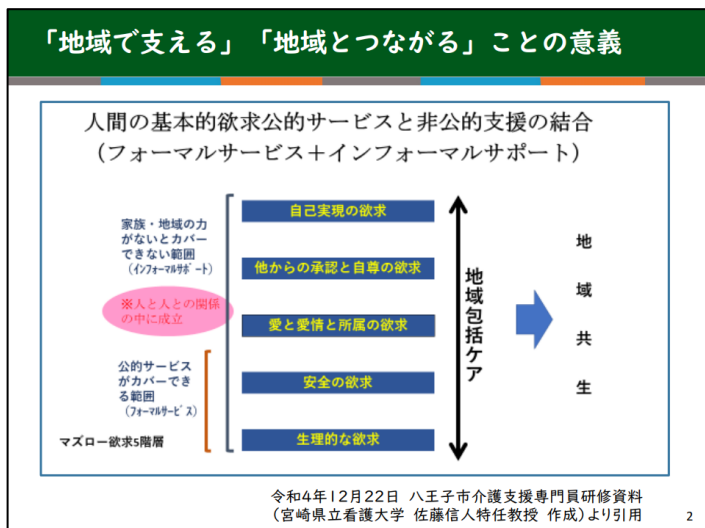
人材のつながり 計画(P.103)

多機関の連携が更に深まるよう、福祉関係者や専門職が参加できる包括的なシンポジウムの開催や地域生活課題や支援ニーズが共有できる機会の提供など、相互理解を深める取組を行っていきます。

令和7年度 取組(例)

日程: 令和8年1月20日 人数: 77人

参加: ケアマネジャー、高齢者あんしん相談センター職員、生活支援コーディネーター、CSW、八王子市福祉部職員



ケアマネジャーの課題の一つである「シャドウワーク」をテーマに、ケアマネジャーの負担を軽減しつつ、複合的な生活課題解決に向けた多機関連携の在り方や、相談窓口の情報共有などに取り組んだ。

関連指標	現状値(策定時)	令和8年度目標	令和11年度目標
他分野の期間と連携して課題に取り組む仕組みや体制があると感じている福祉関係機関の割合	70.5%	80.0%	90.0%

2-2-4 相談対応力を向上する機会の充実

1. 介護支援専門員研修(前頁のとおり)

人材のつながり
計画(P.105)

2. 八王子市若者支援合同研修会(ひきこもり支援部会事例検討会)

日 程:令和7年12月16日

実践報告:「SSWの役割と課題を抱える中学生の実情について」

(市スクールソーシャルワーカーから)

「保健相談部と自立に困難を抱える高校生の実情と
支援機関連携」

(都立高校教員から)

対 象:地域の支援機関・民間団体
子ども・若者の育成支援に関わる地域の皆様
教育機関の進路・生活指導・養護教諭
スクールカウンセラー・SSW・YSW ほか

八王子市若者支援合同研修会
～若者の課題を見逃さない、
教育機関と
支援機関との連携～

■開催日時 令和7年12月16日 13:30～16:30
■会場 東京たま川メッセ 第1会議室

第1部
基調講演 井村良英氏 東京都若者支援推進協議会について
実践報告① 谷川由紀子氏 八王子スクールソーシャルワーカー(相談員) 「SSWの役割と課題を抱える中学生の実情について」
実践報告② 早乙女雄一氏 八王子市立高等学校 教員 「保健相談部と自立に困難を抱える高校生の実情と支援機関連携」
座談会 井村良英氏、早乙女雄一氏 「これからの教育機関と支援機関との連携可能性について」
～ 休憩 ～

第2部
グループワーク ファシリテーター 井村良英氏 「であうつながる」
～ 自己紹介・グループワーク・先進事例紹介・質疑等

～専門分野の異なる支援者全員が、困難を抱える若者に効果的な支援を提供するという共通の目標を持って学び、意見交換する機会です。～
～グループワークでは、情報共有と意見交換を促進し、連携と支援の質を高めます。～

■講師・ファシリテーター
井村 良英氏
「特定特定非営利活動法人 育て上げネット」執行役員
～子ども家庭庁
若者支援アドバイザー

＜講師プロフィール＞
井村氏は、1978年生まれ、ひきこもりの子どもとその家族を支援する活動に20年以上従事。その経験から、若者の課題を見逃さない、教育機関と支援機関との連携の重要性を訴えている。好きな言葉は「3人がわかってくれる人がいれば大丈夫」。支援者間の連携が大切で、それによって「つながり」が生まれ、活動が広がっていく。

■問合せ先
八王子市若者支援推進協議会 調整機関
八王子市 子ども家庭課 青少年支援課
電話 042-620-7435
E-mail h479900@city.hachioji.tokyo.jp

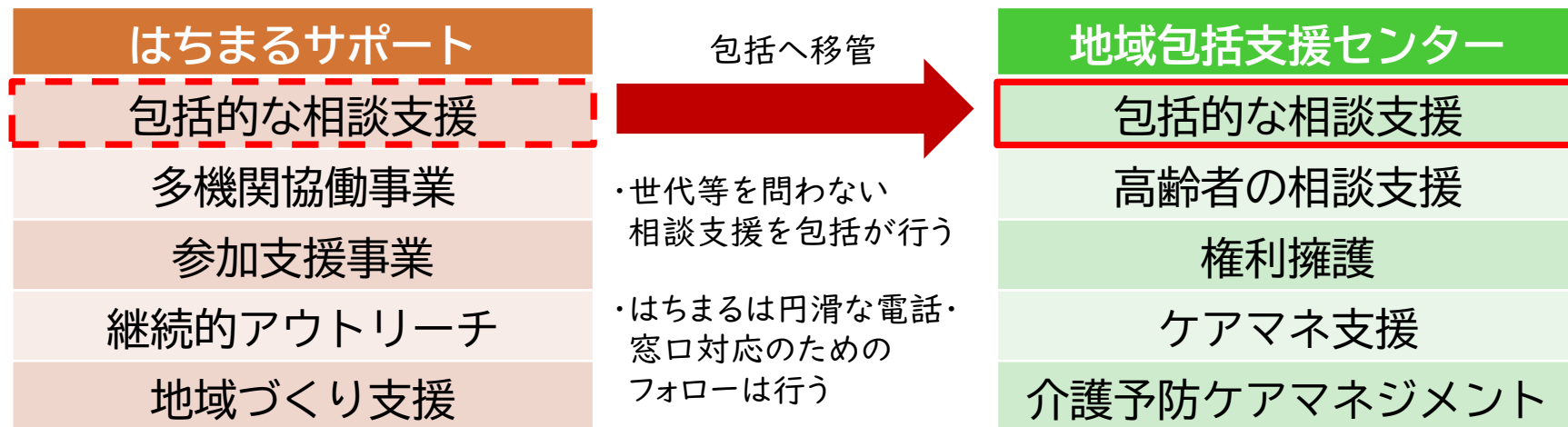
あなたのまちも、
あるけるまち。八王子

関連指標	現状値 (策定時)	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和11年度 目標
分野横断的な福祉関係機関の研修会や講座の開催	10回	4回	2回	20回	30回

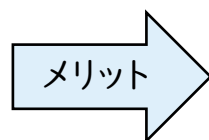
福祉サービスの充実 (サービスのつながり)

3-2-1 はちまるサポートの機能強化 (包括的な相談支援体制の充実)

令和7年5月～ はちまるサポート子安・地域包括支援センター子安の併設化に伴う
運営体制の変更



相談窓口の
一本化



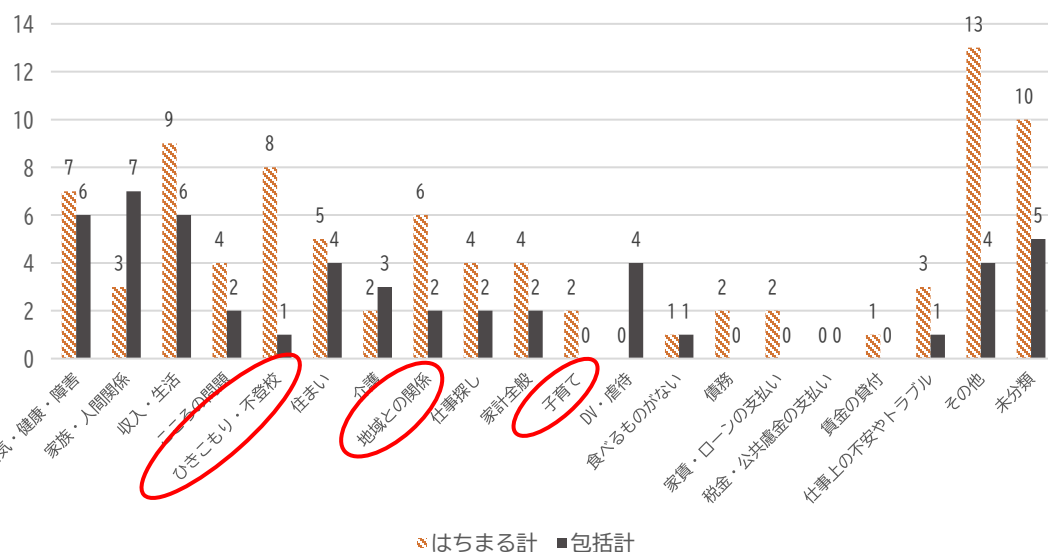
- ・分野横断的な相談への対応力強化 (Strengthening the ability to respond to cross-sector consultation)
- ・はちまるサポートで実施する他4事業への注力 (Focusing on the other 4 projects implemented by Hachimaru Support)

関連指標	現状値(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標	令和11年度目標
はちまるサポート認知度	11.4%	16.9%	25%	50%
はちまるサポート整備数	13か所	13か所	14か所	14か所

3-2-1 はちまるサポートの機能強化 (包括的な相談支援体制の充実)

令和7年5～11月 はちまるサポート子安・地域包括支援センター子安 相談実績

事由別 はちまるサポート・包括子安における「包括的な相談支援」延べ件数
(5～11月末 新規の相談案件のみ)



対象者の年齢や属性を問わない
“包括的な相談支援”

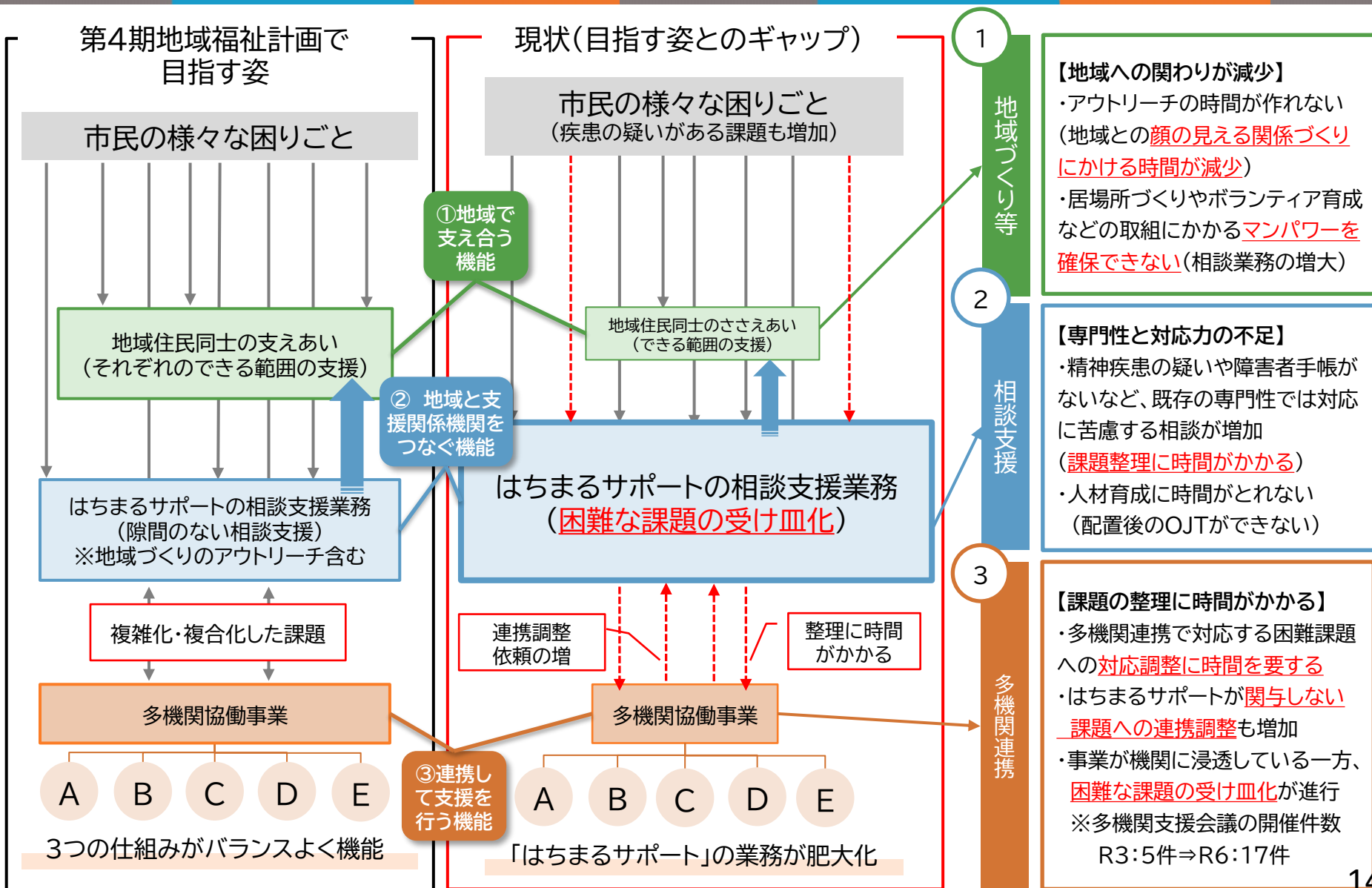
相談内容により、はちまる職員が
対応せざるを得ない場面も多い

課題

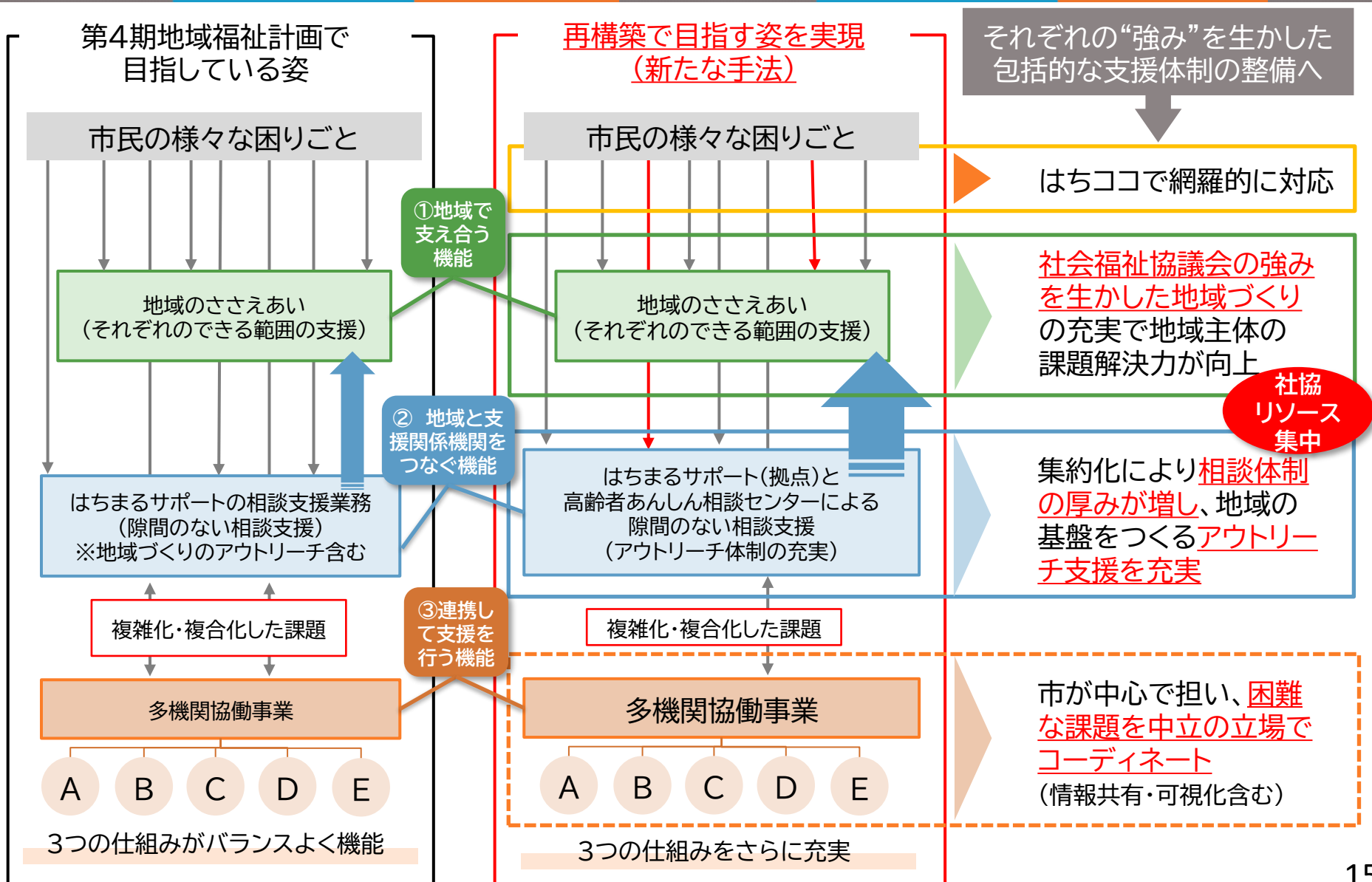
- ・分野横断的な相談内容に対応出来る
知識・スキルの習得方法
- ・役割分担と連携方法の明確化

関連指標	現状値(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標	令和11年度目標
はちまるサポート 認知度	11.4%	16.9%	25%	50%
はちまるサポート 整備数	13か所	13か所	14か所	14か所

3-2-2 複雑化・複合化した地域生活課題に対応する支援スキームの共通化



3-2-2 複雑化・複合化した地域生活課題に対応する支援スキームの共通化



3-2-2 複雑化・複合化した地域生活課題に対応する支援スキームの共通化

地域のつながり
計画(P.72)

チャット形式
AI傾聴窓口
はちココ



24時間365日、
あなたの話を聞き「
あなたと“つながる”「Communication」

はちココは、あなたが話したいとき、
いつでもどこでも話し相手になります

【実証実験の概要】

- ・目的:導入による効果検証および相談内容や属性、課題の検証
- ・期間:2025年2月～4月(3ヶ月間)
- ・公開/PR方法:市ホームページ
- ・機能:悩みチャット相談(傾聴・共感) + 指定窓口のご案内

関連指標	現状値(策定時)	令和7年度実績	令和8年度目標	令和11年度目標
DXの推進による相談支援関連の様式やシステムの共通化	新規	はちココの実証事業 (AIを活用した傾聴)	方針決定	実施

生成AIが個々の悩みに“共感”し、公的機関とのつながりを充実

潜在化する悩みを窓口“つなぐ”全市民が公的支援にアクセスできる仕組み

～だれでも・どこでも・いつでも公的支援に“つながる”機会を得る「潜在化する課題の早期発見・早期支援」～



- スタートアップ企業との共創により費用負担なしで実証事業を実施
- 公的な窓口につながりにくい30～50代の利用が多いことが判明し、有用性を確認（延べ相談件数：1,243件、満足度95.6%）
- 実証事業の結果、生活課題の早期発見・早期支援や公的な窓口につながりやすくなる効果が確認できた。

実証実験ではパイロット版のため個人を特定する機能が付加されていなかった…

実装では、本人希望で窓口から直接アプローチすることが可能

潜在的な課題を幅広く発見でき、誰でも公的支援とつながる有力なツールとして導入する

参考：本格導入時の主な追加予定機能

- (1) サービス、支援機関や社会参加情報等の独自情報を学習して案内
- (2) 本人希望で個人情報を取得し、支援機関から直接連絡する機能を追加

令和8年度下半期の導入に向けて、準備中

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
1-1-1	1	高齢者あんしん相談センターによる地域向け講座の実施回数	2,043回		2,074回		2255回	介護予防教室 1,501回 家族介護者教室 239回、その他教室 32回、家族介護支援 231回、認知症サポーター養成講座217回、認知症フォローアップ 35回	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-1	2	協議体開催回数・地域ケア会議開催回数	協議体:435回 会議:220回		協議体:437回 会議:223回		協議体:●回 会議:241回	はちおうじ人生100年サポート企業への協議体及び第2層生活支援コーディネーターが開催する協議体数:●回 高齢者あんしん相談センターが開催した地域ケア会議:241回	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-1	3	障害者に対して理解や配慮をしている市民の割合	68.1%	80.0%	80.0%	80.0%	75.4%	実績による	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-1-1	4	子育て講座実施数	1,926回	1,086回			2,569回	概ね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽に集い、相互交流を行う場である「親子つどいの広場」を設置し、それぞれの広場にて子育てに関する講座を実施。	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
1-1-1	5	若者が対象となる生涯学習講座の数	10講座	30講座	現状値以上	現状値以上	7回	若者向けに行った生涯学習講座の開催数	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
1-1-1	6	地域の課題を知っている市民の割合	30.0%		35.0%	40.0%		3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-1	7	地域活動の内容や参加の方法がわからない人の割合	20.0%		18.3%	17.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
1-1-1	8	地域共生のまちづくり推進フォーラム等の参加人数	270人/年		400人/年	500人/年	225人/年	社会問題の一つである孤独・孤立をテーマに、「あなたをひとりにしない～助けてと言えるまち八王子～」を開催。NPO法人抱樸 奥田知志氏の基調講演からはじまり、パネルディスカッションをおこなった。参加者は225名。	事業実績
1-1-2	1	住民主体による介護予防・生活支援サービス提供団体数	43団体		56団体		44団体	要支援者等の居宅において、介護予防を目的として、主に住民ボランティア等、住民主体の自主活動として行う掃除や買い物といった多様な生活支援の活動を支援する。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-2	2	認知症支援「チームオレンジ」のチーム数	5チーム		21チーム		12チーム	各センターに配置している認知症地域支援推進員が地域活動にて立ち上げ・運営支援を実施	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-2	3	障害者サポーター養成講座受講者数	11人	60人	80人	80人	48人	・年3回開催 ・内1回を保健所で開催	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-1-2	4	子育て援助応援事業(ファミリーサポートセンター)利用件数	1,887件	2,264件	2,453件	2,642件	2,941件	子育ての手助けが欲しい方(依頼会員)と手助けができる方(提供会員)が会員登録をし、子育てを地域で相互に助け合う活動(相互援助活動)をする。	子ども家庭支援センターより
1-1-2	5	親子つどいのひろばボランティア活動件数	143件	572件	858件	1,001件	1,123件	概ね3歳未満の乳幼児とその保護者が気軽に集い、相互交流を行う場である「親子つどいの広場」を設置。 親子で楽しみながら参加者同士が交流をもつことのできる催しや、子育てに関する講座を開催し、安心して子どもを産み、育てられる地域を目指す。	子ども家庭支援センターより
1-1-2	6	地域活動への参加経験がある方の割合	52.4%		53.5%	55.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
1-1-2	7	ボランティアセンターに登録する登録ボランティアの数	2,061人		2,600人	3,000人	2069人	入門講座などを実施し、ボランティア活動者の増加を目指した。	ボランティアセンター実績
1-1-2	8	健康づくりサポーター養成者数	176人		216人	236人	193	フォロー講座を実施し、サポーターの活動支援会を行った。	八王子市健康医療計画・経営計画重要指標
1-1-3	1	てくポ(ボランティア・ポイント)ボランティア受入機関の数	279機関		315機関		312機関	ボランティア活動者に対して、1時間 50 ポイント(※1日2時間上限、51回目以降は1時間10ポイント)のてくポポイント付与している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-3	2	ボランティアセンターでのマッチング件数	182件		250件	300件	227件	ボランティアセンター、はちまるサポートにおいて施設、市民からの要請に対し、対応した。	ボランティアセンター実績
1-1-3	3	ボランティアセンターで紹介できる参加先の数	延べ120件		延べ280件	延べ300件	295件	同一施設からの要請が多い傾向にある。新規施設への取り組みが課題	ボランティアセンター実績
1-1-3	4	ボランティアセンターが発信するSNSの登録者数	389人		740人	1,000人	1223人	ボランティア募集だけでなく、関連情報の発信を行った。	ボランティアセンター実績
1-1-4	1	介護保険外サービス、ボランティアを利用している高齢者の割合	26.6%		30.0%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-4	2	企業・店舗等の地域ケア会議への参加者数	26人		30人		133人	JKK、郵便局、銀行、スーパー、コンビニエンスストア等	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-4	3	コーディネーターと民間企業が連携したイベント等の開催	21回/年		23回/年		45回	生活支援コーディネーターが高齢者の社会参加・介護予防を主な目的とした民間企業とのイベントを開催している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-4	4	大学等と市との連携・協力事業数	154件	184件	208件	244件	(確認中)		八王子市子ども・若者育成支援計画
1-1-4	5	見守り協定を締結した事業者の数	46件		54件	60件	57件	年度末時点における見守り協定を締結した事業者の数を計上	事業実績
1-1-4	6	公民共創の実施件数(福祉分野)	新規		3件	6件	2件	(株)ZIAIと協定を結び、孤独・孤立対策の一つとして、生成AIを活用した、生活の困りごとやお悩みをオンラインで傾聴する、AI傾聴窓口「はちココ」をR7.2月～4月末日まで開設。孤独・孤立対策推進法に基づき、令和7年5月に八王子市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置及び共同運営に関する協定をNTT東日本株式会社東京西支店及び株式会社まちづくり八王子と締結。	未来デザイン2040・八王子市経営計画
1-1-5	1	隣近所との付き合いがほとんどない人の割合	13.1%		11.4%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-5	2	地域の人に助けてもらう高齢者の割合	36.0%		38.3%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-5	3	農作業体験参加人数	新規		40人		119人	6事業所が参加	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-1-5	4	子ども食堂などを実施する団体数	43団体	35団体	33校区 (R9目標)	全37校区	28校区(65団体)	令和7年度は、子ども食堂などを実施する団体数は、立上げ支援講座を実施したこともあり、65団体となりました。(28校区) ※第2期子若計画より、実施団体数ではなく、実施校区(全中学校校区に1か所以上が目標)に変更	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
1-1-5	5	「ひきこもり」の相談ができる窓口の認知度	新規		25.0%	50.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	新規
1-1-5	6	孤独・孤立状態にある本人や家族の居場所や社会参加等の「場」の数	新規		12か所	30か所	1か所	令和7年10月に孤独・孤立対策を進める新たな居場所「ことこ」をプレオープンした。	新規
1-1-5	7	孤独・孤立対策支援プラットフォームの数	新規		3か所	6か所	1か所	令和7年5月に八王子市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置及び共同運営に関する協定を締結した。	新規

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
1-1-6	1	地域の人に助けてもらう高齢者の割合	36.0%		38.3%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-6	2	運転ボランティア人数・圏域ごとの移動支援提供団体数	23人・23団体		28団体		24団体38人	住民主体による介護予防・生活支援サービス登録団体の担い手が運転者となり、自家用車やレンタカー等を活用して外出付き添いを行う。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-1-6	3	障害者サポーター養成講座受講者数(再掲)	11人	60人	80人	80人	48人	・年3回開催 ・内1回を保健所で開催	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-1-6	4	はちまるサポーターの登録人数	10人		115人	210人	172人	計8回はちまるサポーター説明会を開催。 R8.3.31時点・累計172人	八王子市経営計画
1-1-6	5	地域づくり推進会議を設置している中学校区数	4校区	37 校区に設置 (令和 12 年度(2030 年度)まで)	推進会議の廃止及び新たな事業展開を構築する	新たに事業を実施していく	6校区	長房・川口・みなみ野・南大沢・恩方・加住に設置	八王子未来デザイン2040
1-2-1	1	シルバー人材センターの年間受託件数・就業延人数	10,209件 181,472人		10,617件 188,731人		10,293件 164,627人	高齢者の就業と社会参加の機会拡大を図っている。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-1	2	てくポ(イベント参加ポイント)参加者	累計6,294人		累計20,000人		累計20,058人	イベント参加者に対して、1回10ポイント(※月5回上限)のてくポポイント付与している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-1	3	通所施設での福祉的就労の利用者数(A型作業所・B型作業所)	A型 217人 B型1,658人	A型 261人 B型1,732人	A型 305人 B型1,806人			6月(出納閉鎖後)頃に確定	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-1	4	農作業体験参加人数(再掲)	新規		40人		119人	6事業所が参加	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-1	5	就労支援を実施した方のうち、就職が決まった割合	42.9%	66.0%	※第2期計画では指標なし	※第2期計画では指標なし	72.7%	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の個々の情報に応じたきめ細やかな支援をおこなう。	八王子市子ども・若者育成支援計画
1-2-1	6	ボランティアセンターでのマッチング件数(再掲)	182件/年		250件/年	300件/年	227件	ボランティア募集だけでなく、関連情報の発信を行った。	ボランティアセンター実績
1-2-1	7	ボランティアセンターで紹介できる参加先の数(再掲)	延べ120件		延べ280件	延べ300件	295件	同一施設からの要請が多い傾向にある。新規施設への取り組みが課題	ボランティアセンター実績
1-2-1	8	重層的支援体制整備事業における参加支援事業のマッチング件数	18件/年		90件/年	150件/年	0件	「参加支援事業におけるマッチング」とは、重層的支援会議の結果、本人が参加すると言ったものしかカウントできず、R7年度の、重層的支援会議の開催実績は1件であり、それに該当しなかったため、0件とする。	はちまるサポート実績
1-2-1	9	健康の維持・推進に心がけている市民の割合(適度な運動)	63.7%			70.0%	58.5%	ウォーキングマップの配布および周知を行った。	健康医療計画
1-2-2	1	地域包括ケア情報サイトの掲載情報数	2,015件		2,200件		2752件	地域活動などの資源情報の掲載数が増加している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-2	2	地域資源・ニーズの調査回数	3,573回/年		3,800回/年		6071回/年	第2層生活支援コーディネーターが日頃地域資源を把握している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-2	3	八王子農業塾の参加事業者数	2事業所		2事業所		1事業所	障害者事業所が参加	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-2	4	放課後等デイサービス利用者数	1,370人	1,417人	1,465人			6月(出納閉鎖後)頃に確定	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-2	5	はちまるファームの数	1か所		2か所	3か所	2か所	小比企町・南陽台ファーム	はちまるサポート実績

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
1-2-2	6	重層的支援体制整備事業における参加支援事業で紹介できる「つなぎ先」の数	新規		150か所	300か所	13か所	「ひきこもり居場所マップ」を発行。八王子市孤独・孤立対策官民連携地域プラットフォーム居場所を含む	はちまるサポート実績
1-2-3	1	住民主体による通所型サービス提供人数	53講座 38人		96講座 240人		55講座 197人	講師・利用者の介護予防や社会参加を目的とした通所型サービスで講座等を実施している。今年度は、講座数・利用者数が減少した。引続き新たなサテライト会場の検討やサービスの周知に努め、利用者の増加に努める。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-3	2	てくポ(イベント参加ポイント)参加者(再)	累計6,294人		累計20,000人		累計20,058人	イベント参加者に対して、1回10ポイント(※月5回上限)のてくポポイント付与している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-3	3	放課後等デイサービス利用者数(再)	1,370人	1,417人	1,465人			6月(出納閉鎖後)頃に確定	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-3	4	はちまるファームの数	1か所		2か所	3か所	2か所	小比企町・南陽台ファーム	はちまるサポート実績
1-2-4	1	普段会う人から、相談窓口や制度について情報を得ることがあると答えた高齢者の割合	20.8%		24.0%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-4	2	子ども・子育てフォーラム開催	実施	実施	※第2期計画では指標なし	※第2期計画では指標なし	実施なし		八王子市子ども・若者育成支援計画
1-2-4	3	「つながる」ことの効果や重要性を知っている人の割合	新規		30.0%	60.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
1-2-4	4	他人との関係が希薄になっていると感じる人の割合	25.7%		22.4%	20.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
1-2-4	5	つながりの啓発リーフレット作成・配布数	新規		15,000部	30,000部	6000部	孤独・孤立対策の一環として、リーフレットを作成。累計7,000部。	新規・実績
1-2-4	6	地域共生社会の普及啓発に向けたイベントや講座の開催数(重層的支援体制整備事業)	2回/年		4回/年	6回/年	1回/年	孤独・孤立対策の一環として、困っている人の周囲にいる人へのメッセージとして「あなたをひとりにしない～助けてと言えるまち八王子～」をテーマに開催した	はちまるサポート実績
1-2-5	1	普段会う人から、相談窓口や制度について情報を得ることがあると答えた高齢者の割合	20.8%		24.0%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-5	2	認知症サポーター(新規サポーター)の数	3,000人		4,000人		5,958人	サポーター養成者数 累計 63,436人	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
1-2-5	3	障害者サポーター養成講座受講者数(再掲)	11人	60人	80人	80人	48人	・年3回開催 ・内1回を保健所で開催	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
1-2-5	4	地域福祉の推進に協力する住民ネットワーク登録人数(はちまるサポーター)(再掲)	10人		115人	210人	172人	計8回はちまるサポーター説明会を開催。R8.3.31時点:累計172人	八王子市経営計画
1-2-5	5	隣近所との付き合いがほとんどない人の割合	13.1%		11.4%	10.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
1-2-6	1	避難行動要支援者の個別避難計画の作成率	9.3%		61.0%	100.0%	44.5%	避難行動要支援者名簿及び個別避難計画作成状況より	八王子市経営計画
1-2-6	2	災害ボランティアリーダーの数	45人		54人	60人			ボランティアセンター実績
2-1-1	1	モバイル端末を業務に活用している民生委員・児童委員の割合	22.0%		38.0%	50.0%	なし	モバイル端末の入れ替え年にあたるため、民生委員を対象とした「モバイルPC利用に関するアンケート」を未実施であり、実績値は把握できていないが、活動記録報告、資料共有、ペーパーレス会議、研修動画視聴等に多くの民生委員が活用している。	民生委員担当

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
2-1-1	2	活動しやすいと感じている民生委員・児童委員の割合	65.0%		70.0%	80.0%	なし	「民生委員の活動に関する実態把握等調査」は計画策定時(R6.1月)に地域福祉担当が民生委員を対象に行ったアンケート調査であり、その後行っていないため、令和7年度の実績値は把握できていない。	民生委員の活動に関する実態把握等調査
2-1-1	3	民生委員・児童委員の1年間の訪問・連絡活動の総件数	42,079件		45,548件	49,302件	40,947件	民生委員のR7年度活動記録報告より。	民生委員担当
2-1-2	1	高齢者あんしん相談センターによる地域向け講座の実施回数(再掲)	2,043回		2,074回		2255回	介護予防教室 1,501回 家族介護者教室 239回、その他教室 32回、家族介護支援 231回、認知症サポーター養成講座217回、認知症フォローアップ 35回	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-1-2	2	他分野の機関と連携して取り組む仕組みや体制があると感じている福祉関係機関の割合	70.5%		80.0%	90.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	福祉関係機関職員向け調査
2-1-2	3	専門職による地域向け地域生活課題の深刻化予防に向けた講座の実施件数	新規		75件/年	150件/年	1回/年	地域生活課題であるひきこもりをテーマに勉強会を開催した。	はちまるサポート実績
2-1-3	1	大学等と市との連携・協力事業数(再掲)	154件	184件	208件	244件	(確認中)		八王子市子ども・若者育成支援計画
2-1-3	2	大学生等の地域福祉計画の認知度	新規		新規取得値の向上	新規取得値の向上		令和8年度調査にて状況把握予定	新規
2-1-3	3	「つながる」ことの効果や重要性を知っている人の割合(再掲)	新規		30.0%	60.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
2-1-4	1	福祉のしごと就職フェアの来場者数・就職者数	来場者数68人・就職者数6人		来場者数75人・就職者数15人		来場者数177人・就職者数17人	就労希望者と市内介護サービス事業所等をマッチングさせる就職相談会を実施。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-1-4	2	資格取得支援者数(新規就労者枠)	41件		45件		45人(49件)	市内介護保険サービス事業所に勤務する介護職員に対し、資格取得にかかった費用を補助。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-1-4	3	外国人介護従事者等に対する日本語学習支援事業の受講者数・修了者数	受講者数46人・修了者数34人		受講者数50人・修了者数35人		受講者数41人・修了者数35人	市内の介護保険サービス事業所に就労する在日外国人等に対し、介護業務に必要な日本語の語学力を習得する教室を実施。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-1-4	4	障害施設職員の処遇改善加算の取得率	81.0%		85.0%		88.7%	処遇改善加算の周知及び事業者の事務負担軽減策等によって、取得率が上昇している。	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
2-1-4	5	はちまるサポート※に配置するCSWの数	26人		31人	36人	24人	実績による	第4期八王子市地域福祉計画
2-2-1	1	多機関協働事業の実施拠点数	1か所		4か所	6か所	1か所	実績による	第4期八王子市地域福祉計画
2-2-1	2	福祉関係機関の支援会議(又は重層的支援会議)の認知度	88.9%		92.4%	95.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	福祉関係機関職員向け調査
2-2-2	1	高齢者あんしん相談センター職員によるアウトリーチ件数	15,883件		19,581件		12,607件	高齢者あんしん相談センター職員分 12,607回	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-2-2	2	通いの場へのアウトリーチ回数・参加者数(高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施ほか)	24回・240人		50回・500人		32回・延べ614人	リハビリテーション専門職のアウトリーチによる通いの場への助言等を行う。(一体的実施におけるリハ職のポピュレーションアプローチも実施)	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-2-2	3	保育所等訪問支援事業所数	8事業所		12事業所		13事業所	年1増の目標に対して2増を達成し、順調に増加している。	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
2-2-2	4	CSWのアウトリーチ支援件数(総件数)	1,723件/年		1,881件/年	2,000件/年	3,153件/年	支援が届いていない方へ支援を届けたり、支援拒否等本人との信頼関係の構築へのアプローチ	はちまるサポート実績
2-2-2	5	CSWのアウトリーチ支援件数(専門職と同行した件数)	新規		新規取得値の向上	新規取得値の向上	124件	実施日数 (回数)32日(64回)	はちまるサポート実績
2-2-3	1	認知症にかかる多様な職種や機関と連携協働が図られていると感じる事業所の割合	60.4%		69.5%			調査未実施	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
2-2-3	2	全ての場面(日常的・入退院時・急変時・看取り)で、医療側と情報・意識共有がスムーズに行われていると感じるケアマネジャーの割合	33.9%		38.0%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-2-3	3	子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数	34校	全37校	※第2期計画では指標なし	※第2期計画では指標なし	38校	令和6年度(2024年度)より、八王子市子ども家庭支援ネットワーク(要対協)の中学校分科会をより細分化し、市内の小中学校等、関係機関と個別に子どもを取り巻く社会環境についての情報共有を実施しました。(延64回開催)	八王子市子ども・若者育成支援計画
2-2-3	4	他分野の機関と連携して課題に取り組む仕組みや体制があると感じている福祉関係機関の割合	70.5%		80.0%	90.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
2-2-3	5	福祉関係機関向けシンポジウム等の開催	新規		1回/年	1回/年	1回	実績による	市シンポジウムの実績
2-2-4	1	高齢者虐待防止研修参加者(ケアマネジャー、介護従事者向け)	324人		373人		1625人	事業所(通所・入所・訪問・ケアマネ)向け、包括向け(基礎編・応用編)、市民向け(講演会・研修)の計8回実施	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
2-2-4	2	児童虐待防止に関する研修の実施	実施	実施	※第2期計画では指標なし	※第2期計画では指標なし	10回	児童虐待防止に関するスキルアップ研修を開催しました。	八王子市子ども・若者育成支援計画
2-2-4	3	分野横断的な福祉関係機関の研修会や講座の開催	10回/年		20回/年	30回/年	2回	ひきこもり支援部会事例検討会1回、ケアマネ研修1回	多機関研修の実績
2-2-5	1	分野横断的な福祉関係機関の研修会や講座の開催(再掲)	10回/年		20回/年	30回/年	2回	ひきこもり支援部会事例検討会1回、ケアマネ研修1回	多機関研修の実績
2-2-5	2	福祉関係者の重層的支援体制整備事業の認知度	88.7%		92.3%	95.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	福祉関係機関職員向け調査
2-2-5	3	地域共生社会を目指した福祉分野横断的な検討プロジェクトの設置	新規	→	→	→	未実施		新規
3-1-1	1	「介護保険サービス以外」の支援・サービスが身近にない、知らない高齢者の割合	15.6%		13.8%			調査未実施	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-1-1	2	地域包括ケア情報サイトの閲覧数	6,061回/月		6,400回/月		6520/月	地域活動などの資源情報を一括で管理するサイトを運営している。運営元より毎月月報で閲覧数を確認している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-1-1	3	子育て情報サイトの開設	実施	実施	実施	実施	実施	令和6年度も引き続き子育て応援サイトのイベントページでは、サイトの活用を庁内で呼びかけ、イベント・講座情報を充実しました。	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
3-1-1	4	ひとり親家庭へのメールマガジンの登録者数	2,226人	2,000人	※第2期計画では指標なし	※第2期計画では指標なし	2,286人	ひとり親情報支援メールマガジン「はち☆エール」の実施	八王子市子ども・若者育成支援計画
3-1-1	5	誰に相談すればよいか分からない人の割合(相談先が分からない)	13.3%		11.4%	10.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
3-1-1	6	バリアフリーマップの認知度	新規		15.0%	30.0%		現在、公開型GISでの公開について、デジタル推進課と調整中	地域福祉計画策定に伴う意識調査
3-1-2	1	点字広報発行数	833部		900部		543	実績による	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
3-1-2	2	声の広報発行数	2,757部		3,000部		1,392	実績による	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
3-1-2	3	多言語化に対応した子育てガイドブックの作成	実施	実施	実施	実施	実施	多言語対応アプリ「カタログポケット」を活用し、「子育てガイドブック」を9か国語に翻訳しました。	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
3-1-2	4	福祉サービスの制度や仕組みの分かりやすさ(指標再掲)	9.3%		21.1%	30.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
3-2-1	1	はちまるサポートの整備数	13か所		14か所	15か所	13箇所	13か所のはちまるサポートを委託により運営し、令和7年度4月よりはちまるサポート台町を八王子駅南口事務所内へ移転し、はちまるサポート子安として開設した。	第4期八王子市地域福祉計画
3-2-1	2	地域福祉の基盤づくりを行う基幹型はちまるサポートの数	新規		3か所	6か所	3か所	令和7年4月よりはちまるサポート子安を基幹型とした。	第4期八王子市地域福祉計画
3-2-1	3	CSWによるアウトリーチ支援の件数(再掲)	1,723件/年		1,881件/年	2,000件/年	3,153件/年	支援が届いてない方へ支援を届けたり、支援拒否等本人との信頼関係の構築へのアプローチ	はちまるサポート実績
3-2-2	1	多機関協働事業の相談件数	10件/年		35件/年	60件/年	11件/年	支援会議：10回 重層的支援会議：1回	はちまるサポート実績
3-2-2	2	DXの推進による相談支援関連の様式やシステムの共通化	新規		方針決定	実施	実施	(株)ZIAIと協定を結び、孤独・孤立対策の一つとして、生成AIを活用した、生活の困りごとやお悩みをオンラインで傾聴する、AI傾聴窓口「はちココ」をR7.2.2月～4月末日まで開設。	新規
3-2-2	3	分野横断的な福祉関係機関の研修会や講座の開催(再掲)	10回/年		20回/年	30回/年	2回	ひきこもり支援部会事例検討会1回、ケアマネ研修1回	多機関研修の実績
3-2-3	1	「今後の住まいについて不安を感じていない」と回答した高齢者の割合	28.6%		31.1%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-2-3	2	認知症になっても地域で幸せに暮らせると思う方の割合	11.2%		18.0%			3年に1度の調査で状況把握予定	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-2-3	3	基幹型相談支援センターの設置数	新規		1か所		1か所	実績による	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
3-2-3	4	障害者(児)のセルフプランの作成率	障害者 50.9%・障害児 83.5%		障害者 46.9%・障害児 81.5%			5月中に確定予定	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
3-2-3	5	移動支援利用者数・延利用時間数	638人・ 73,817時間	697人・ 80,610時間	761人・ 88,028時間			6月(出納閉鎖後)頃に確定	八王子市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
3-2-3	6	若者総合相談センターの利用件数	2,706件	1,500件	3,500件 (R9目標)	3,500件以上	3,731件	若者総合相談センターにおいて、高校生世代以降の若者の悩みや思いを何でも受け止め、適切な支援につなげる相談支援、人と話すことに慣れることのできるプログラム活動やフリースペースの提供、地域活動への参加といった活動を行うとともに、他の支援機関への巡回訪問を継続し、ネットワークづくりを行いました。	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
3-2-3	7	「ひきこもり」の相談ができる窓口の認知度	新規		25.0%	50.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
3-2-3	8	移動手段が限られていて外出が難しいと感じている方の割合	7.6%		7.3%	7.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	地域福祉計画策定に伴う意識調査
3-2-3	9	生活保護利用者に対する受診勧奨通知件数	513件	1,646件	1,517件	1,342件	1,321件	実績値内訳 ①【健診未受診者への受診勧奨】 961件 ②【生活習慣病治療中断者への受診勧奨】 150件 ③【健診結果異常値判定者への受診勧奨】 210件	八王子市経営計画

施策	NO.	評価項目	計画策定時の目標値				R7年度(2025年度)事業実績		出典
			R4 ※策定時実績	R6	R8	R11	実績値	事業実績説明	
3-2-3	10	市民後見人の登録者数	37人		50人	60人	38人	前年度養成基礎講習会修了者7名が登録。 上記修了者を対象に養成専門講習会を開催。	第4期八王子市地域福祉計画
3-2-3	11	成年後見制度に関する講座・学習会の開催回数	13回		23回	30回	13回	講演会 2回開催 参加人数 計25名 学習会 11回開催 参加人数 計229名	第4期八王子市地域福祉計画
3-2-3	12	就労支援による就労決定率	42.3%		54.7%	64.0%	36.1%	実績による	八王子市経営計画
3-2-3	13	生活保護家庭における中学校卒業者の進学率	0.966		現状値以上	現状値以上	88.9%	実績による	八王子市経営計画
3-2-3	14	生活保護利用世帯の中学生のうち無料学習教室の参加率	21.6%		26.4%	30.0%	18.2%	実績による	八王子市経営計画
3-2-3	15	生活困窮者の新規相談受付件数	2,712件		3,160件	3,500件	3417件	実績による	
3-2-4	1	てくぽを通じた市場サービスの利用者件数	16,461件		100,000件		7,519件	店舗やイベント・商品・サービスの情報をお届けできる広告サービスを実施している。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-2-4	2	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス支援事業の参加者数	新規		11件			調査中	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-2-4	3	子育て応援企業の登録数	187事業所	210事業所	195事業所 (R9目標)	225事業所	174事業所	令和7年度は、子育て応援企業登録登録への働きかけなどを行った結果、21事業所の新規登録がありました。	第2期八王子市子ども・若者育成支援計画
3-2-4	4	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス相談件数(福祉分野のみ)	新規		8件	15件			八王子市経営計画
3-2-4	5	公民共創の実施件数(福祉分野)(再掲)	新規		3件	6件	2件	(株)ZIAIと協定を結び、孤独・孤立対策の一つとして、生成AIを活用した、生活の困りごとやお悩みをオンラインで傾聴する、AI傾聴窓口「はちココ」をR7.2月～4月末日まで開設。孤独・孤立対策推進法に基づき、令和7年5月に八王子市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置及び共同運営に関する協定をNTT東日本株式会社東京西支店及び株式会社まちづくり八王子と締結。	未来デザイン2040・八王子市経営計画
3-2-5	1	社会福祉法人と連携した地域生活課題への取組件数(はちまるサポートとの連携)	新規		3件	6件			はちまるサポート実績
3-2-6	1	包括的な地域福祉ネットワーク会議開催回数	2回/年		3回/年	4回/年	2回	令和7年度は8月、2月の計2回開催し、関係機関と分野横断的に情報共有等を実施した。	実績
3-2-6	2	包括的な地域福祉ネットワーク会議の部会の立ち上げ数	2部会		4部会	5部会	未実施		実績
3-2-6	3	福祉関係機関の重層的支援体制整備事業の認知度(再掲)	88.7%		92.3%	95.0%		令和8年度調査にて状況把握予定	福祉関係機関職員向け調査
3-2-7	1	EBPMプラットフォーム構築と連動した事業の試行実施	→	→	→	→	実施	てくぽ事業の効果測定などを実施した。	八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画
3-2-7	2	重層的支援体制整備事業の効果をデータ活用して評価するしくみの構築(証拠に基づく数値評価)	→	→	→	→	未実施		新規

第4期地域福祉計画の中間見直しの方向性について

令和8年（2026年）5月25日
地域福祉専門分科会
福祉部福祉政策課

本日の流れ

1 はじめに

前回の議論を踏まえた、

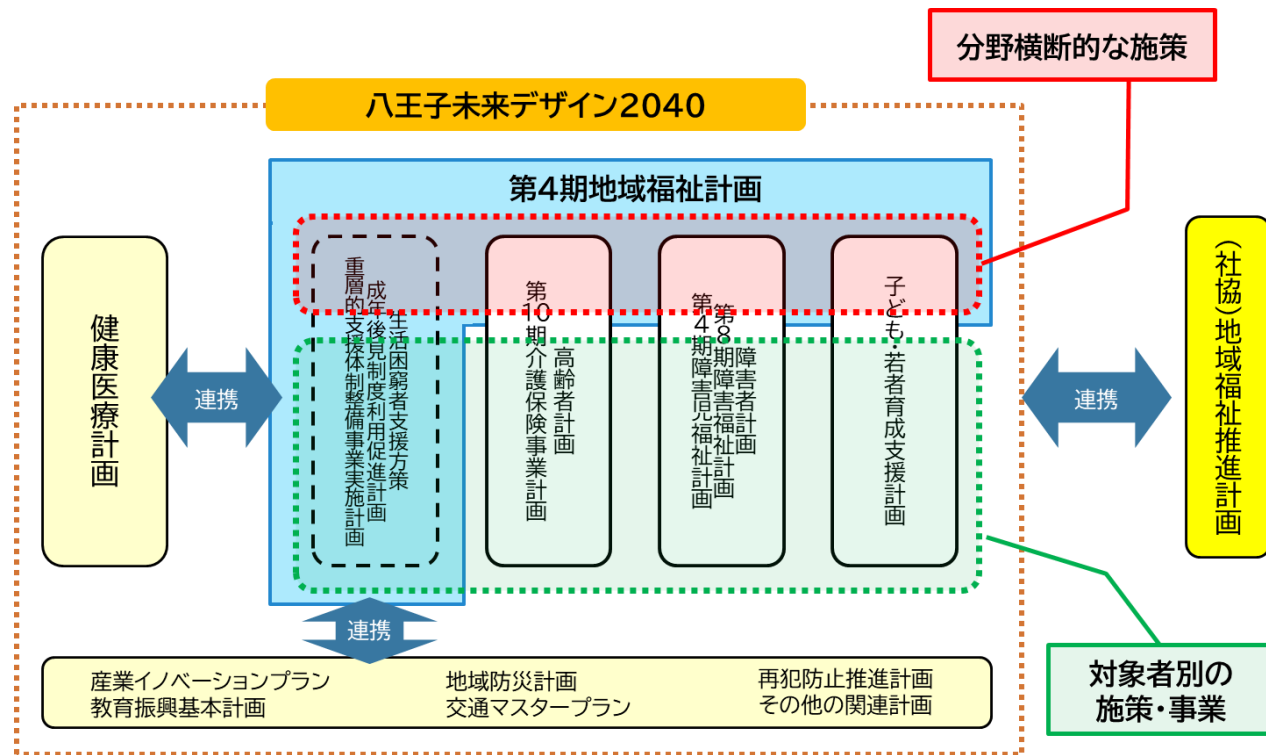
第4期地域福祉計画中間見直しの方向性について

2 議題

第4期地域福祉計画の中間見直しにおける

新たな取り組みの必要性について

計画の位置づけと概要



【基本目標】

だれもが、地域の中で、共に支えあい、安心して、
元気で生き活きと暮らすことができるまちづくり

【めざす姿】 “市民力・地域力”地域におけるつながりあい

【キーワード】 つながる

現行計画の評価・課題

市政世論調査(「八王子未来デザイン 2040」の施策指標等に関する調査)から抜粋

テーマ	主な評価指標	策定時 (R4調査)	現状値 (R7調査)	目標値 (R11)
地域のつながり	身近な場所に困りごとを相談したり、助け合ったりできる人がいるか	いる 67.2%	65.2%	85.0%
	身近な地域に気軽に立ち寄れる場所はあるか	ある 59.8%	64.3%	75.0%
	地域の人と交流したり、地域の活動に参加したりすることで、充実感や生きがいを感じているか	感じている (やや含む) 31.7%	34.3%	40.0%
	「人とひととのつながりがあるまち」になっていると思うか	そう思う (やや含む) 28.4%	41.9%	60.0%
	「誰もが学び、学んだことを活かせる環境が整っているまち」になっていると思うか	そう思う (やや含む) 40.0%	27.9%	60.0%

課題①

支えあいの意識と活動の醸成

現状値と目標値との乖離が大きい
(10%以上)

課題②

持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

困難課題の受け皿化による、はちまるサポート業務の肥大化
(重層的支援体制整備事業の再構築)

※令和7年(2025年)12月11日政策会議にて再構築の方向性付議

課題③

国の制度改正への対応や他分野計画との整合
(第4期計画策定以降改正・改訂されたもの)

【国制度改正】

- ・令和7年10月 重層的支援体制事業の見直し(一部R7から)
- ・令和8年度以降の法改正で予定されている事項
(成年後見制度の改正や身寄りのない高齢者等の支援の充実等)

【関連計画の改定(第4期地域福祉計画策定以降)】

- ・第2期子ども・若者育成計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画、交通マスタープラン、再犯防止計画、教育振興基本計画など

中間見直しの基本的な考え方①

変更なし(継承)

中間見直しの考え方

【3つのテーマ】

地域のつながり

地域福祉を推進するしくみの充実
一人ひとりの幸せを地域全体で
支え合うさりげない“つながり”
・多様な“つながり”

人材のつながり

人材の育成・支援・活用

地域で安心して暮らし続けることが
できる多様な人材の重層的な
“つながり”

サービスのつながり

福祉サービスの充実

支援が必要になっても自立した
日常を継続できるサービスの
“つながり”

【6つの施策】

誰もが地域の力になれる
しくみづくり

福祉や健康づくりが
日常になる環境づくり

福祉関係者などとの連携強化と
新たな担い手づくり

様々な専門職との連携と
包括的な支援体制の強化

一人ひとりに知りたい
情報が届くしくみの充実

隙間のないサービス提供と
効果的なサービス運用体制
の充実

【細施策(取組)】

社会的な背景や現状を踏まえ、
「めざす姿」は継承するため、
テーマ及び施策の変更はなし

課題①

意識と
活動の
更なる
充実

課題②

重層の
再構築

課題③

国制度
や他計
画との
連携

細施策の見直しで新たな
課題に対応

多様化する暮らしの困りごとに
地域と連携して早期対応する
ことで、社会課題の広がり
に対応していく

「予防型」福祉行政を推進

中間見直しの基本的な考え方②

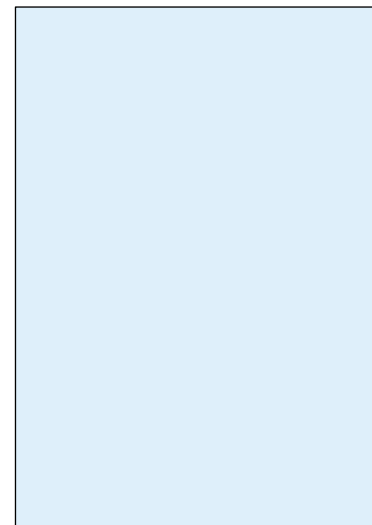
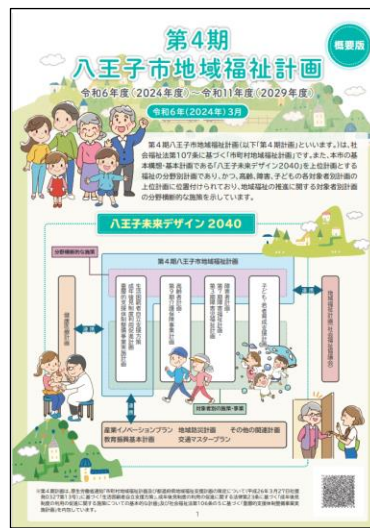
形式について

中間見直し
の考え方

社会的な背景や現状を踏まえ、「めざす姿」は継承するため、

テーマ及び施策の変更はなし

細施策(取組)の見直しで新たな課題に対応



「めざす姿」=大きな方向性は継承し、細施策の見直しを実施することから、
令和5年度策定の冊子を参照しながら読んでいただく「別冊」の形を採用する予定

中間見直しの基本的な考え方③

意識調査について

対 象：市内在住の18歳以上の市民

対象者数：住民基本台帳より無作為抽出した4,000人

調査項目：概ね令和7年度第4回地域福祉専門分科会にてお示したとおり

スケジュール

時期(予定)	実施内容
6月上旬 から 6月中旬	調査票の発送(紙・Web回答フォーム)
6月下旬 から 7月上旬	調査票回収
7月中旬 から 7月下旬	調査結果 集計・分析
8月31日 まで	調査結果報告書 作成

(参考) 第4期八王子市地域福祉計画策定に向けた意識調査

実施年度	令和4年(2022年)10月28日~11月14日
対象	市内在住の18歳以上の市民
対象者数 回収数(回収率)	対象者数：住民基本台帳より無作為抽出した3,000人 回収数：1,205人(回収率：40.2%) ※Web回答が2割(30歳未満では5割)。

中間見直しの視点(後期3年間の推進ポイント)

1. 地域で「支えあう」意識と活動の醸成(市民力・地域力の充実)

視点1 地域の学び・活動機会や参加機会の充実(関係所管と連携した個人と地域をつなげる取り組みの充実)

視点2 地域コミュニティや助け合い活動(生活支援・防災等)の活性化支援の充実(課題解決力の向上)

2. 持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

① 専門支援体制の強化と人材育成

視点1 はちまるサポートの拠点化による専門支援の強化と既存窓口の包括化による相談環境の充実

視点2 「多機関協働事業」の直営化による連携支援体制の強化(社協への派遣による人材育成)

② 早期発見・早期支援へのつなぎ強化

視点1 生活課題の早期発見・早期支援へのつなぎに向けたアウトリーチ支援体制の強化

視点2 AI等の技術を活用した、いつでもどこでも相談できる環境の整備

3. 生活課題の深刻化を防ぐ「予防型」福祉行政の基盤づくり

① 根拠に基づく施策立案(EBPM)や評価の推進

分野横断的な福祉データの分析に基づく事業展開(根拠に基づく施策の推進)及びロジックモデルを使った事業評価

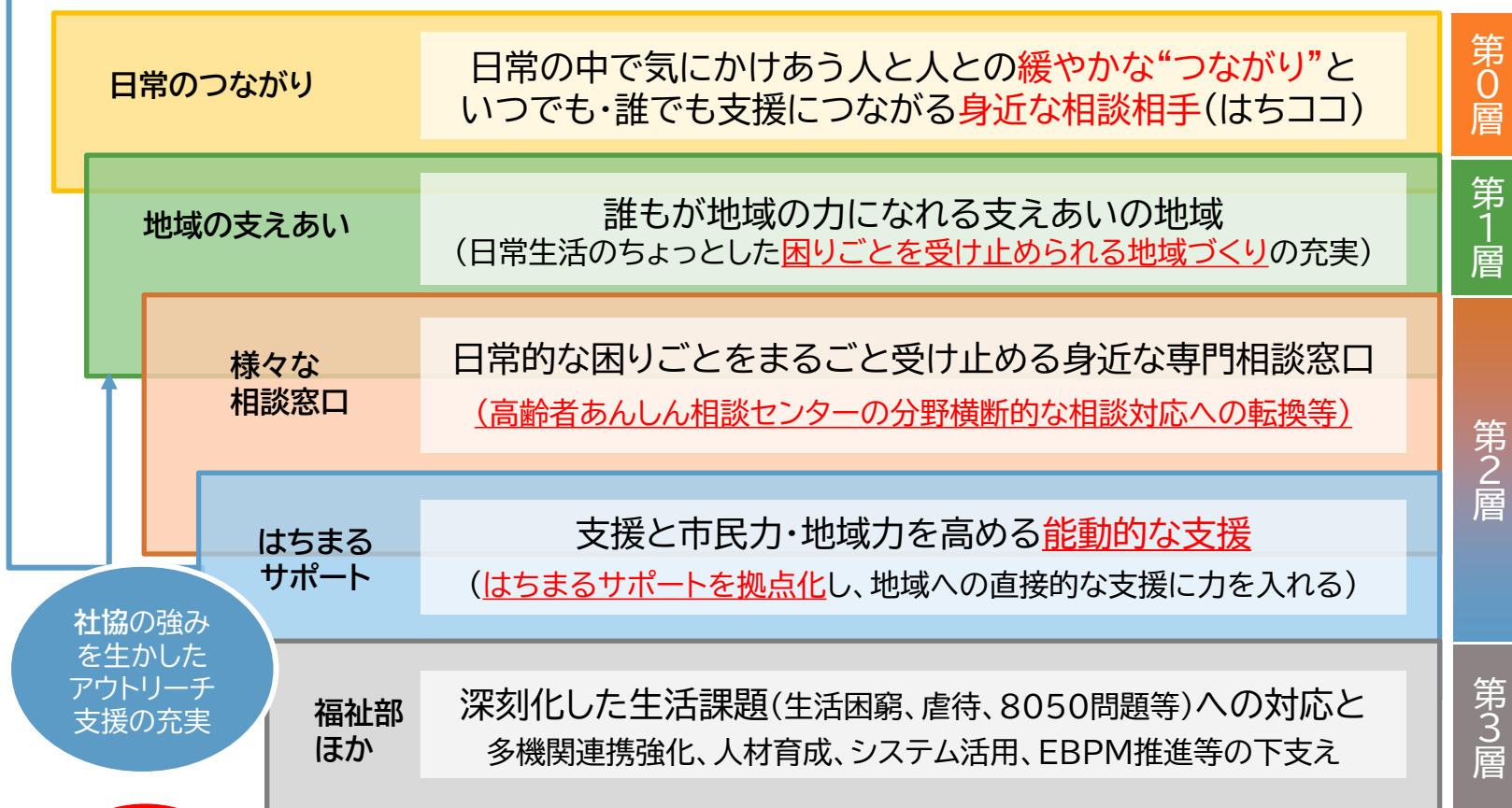
② 社会の変化により新たに取り組む必要がある事業の実施

身寄りのない高齢者等の支援(終活や死後事務等)など、予定される制度改正や関連計画の改定により、取り組みの整合を図る必要が生じたもの

階層構造化による包括的な支援体制の充実



第4期地域福祉計画の「キーワード」



階層構造化で様々な生活課題に対応

だれもが、地域の中で、共に支えあい、安心して、
元気で生き活きと暮らすことができるまちへ

市

「包括的な支援体制」を充実させる、分野横断的な基盤づくり

中間見直しの視点1

1. 地域で「支えあう」意識と活動の醸成(市民力・地域力の充実)

視点1 地域の学び・活動機会や参加機会の充実(関係所管と連携した個人と地域をつなげる取り組みの充実)

視点2 地域コミュニティや助け合い活動(生活支援・防災等)の活性化支援の充実(課題解決力の向上)

2. 持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

① 専門支援体制の強化と人材育成

視点1 はちまるサポートの拠点化による専門支援の強化と既存窓口の包括化による相談環境の充実

視点2 「多機関協働事業」の直営化による連携支援体制の強化(社協への派遣による人材育成)

② 早期発見・早期支援へのつなぎ強化

視点1 生活課題の早期発見・早期支援へのつなぎに向けたアウトリーチ支援体制の強化

視点2 AI等の技術を活用した、いつでもどこでも相談できる環境の整備

3. 生活課題の深刻化を防ぐ「予防型」福祉行政の基盤づくり

① 根拠に基づく施策立案(EBPM)や評価の推進

分野横断的な福祉データの分析に基づく事業展開(根拠に基づく施策の推進)及びロジックモデルを使った事業評価

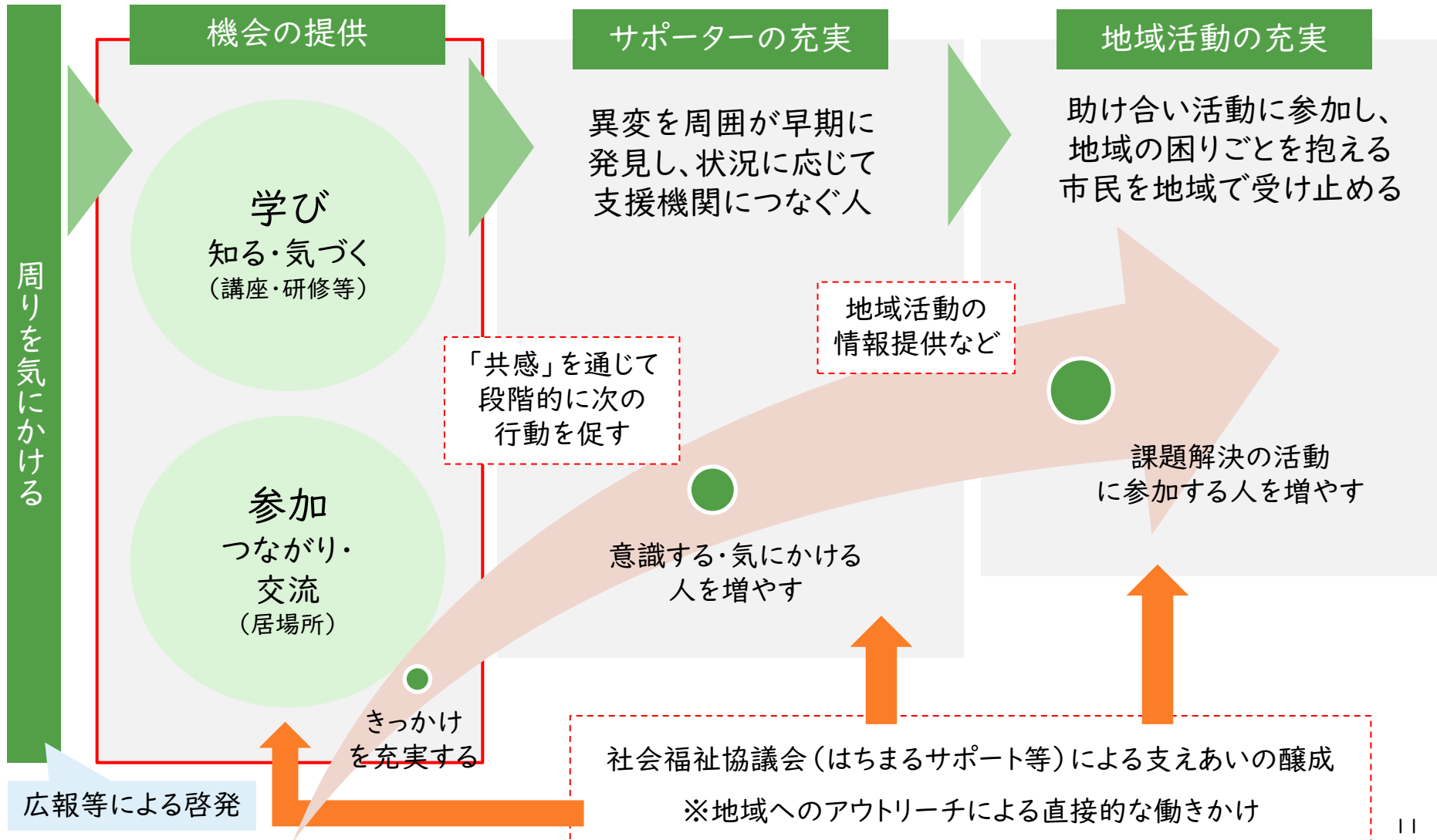
② 社会の変化により新たに取り組む必要がある事業の実施

身寄りのない高齢者等の支援(終活や死後事務等)など、予定される制度改正や関連計画の改定により、取り組みの整合を図る必要が生じたもの

段階的な「地域のつながり」づくり

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

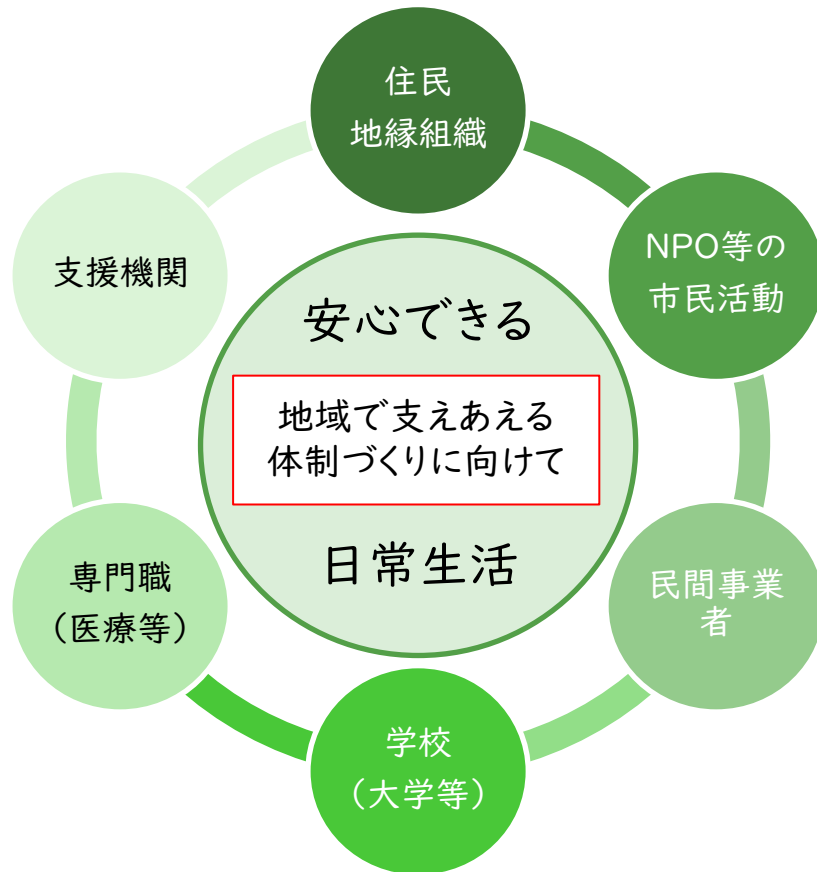
学びと参加をハブとした段階的に地域との“つながり”を作っていくプロセスの仕組み化



地域福祉推進の仲間づくりイメージ （“つなぎ手”の充実に向けて）

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料（再掲）

地域の困りごとを、住民だけ・行政だけで抱え込むのではなく、いろいろな人や団体が「仲間」としてつながり、みんなで支え合っていくための仕組みづくりの推進



多様な主体が「つながりやすくなる」よう、普及啓発やアウトリーチによる活動支援等の取組を充実（地域へのはたらきかけ）

普及啓発（知る機会）

講座・研修の開催（学ぶ機会）

課題のマッチング（つながる機会）

連携した地域活動（参加の機会）

ほか

福祉専門職によるコーディネート

組織改正による「予防型」福祉行政の推進

できるときに、できることを、できる人が。その積み重ねで、安心して暮らし続けられる八王子市を目指す。¹²

中間見直しの視点2

1. 地域で「支えあう」意識と活動の醸成(市民力・地域力の充実)

視点1 地域の学び・活動機会や参加機会の充実(関係所管と連携した個人と地域をつなげる取り組みの充実)

視点2 地域コミュニティや助け合い活動(生活支援・防災等)の活性化支援の充実(課題解決力の向上)

2. 持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

① 専門支援体制の強化と人材育成

視点1 はちまるサポートの拠点化による専門支援の強化と既存窓口の包括化による相談環境の充実

視点2 「多機関協働事業」の直営化による連携支援体制の強化(社協への派遣による人材育成)

② 早期発見・早期支援へのつなぎ強化

視点1 生活課題の早期発見・早期支援へのつなぎに向けたアウトリーチ支援体制の強化

視点2 AI等の技術を活用した、いつでもどこでも相談できる環境の整備

3. 生活課題の深刻化を防ぐ「予防型」福祉行政の基盤づくり

① 根拠に基づく施策立案(EBPM)や評価の推進

分野横断的な福祉データの分析に基づく事業展開(根拠に基づく施策の推進)及びロジックモデルを使った事業評価

② 社会の変化により新たに取り組む必要がある事業の実施

身寄りのない高齢者等の支援(終活や死後事務等)など、予定される制度改正や関連計画の改定により、取り組みの整合を図る必要が生じたもの

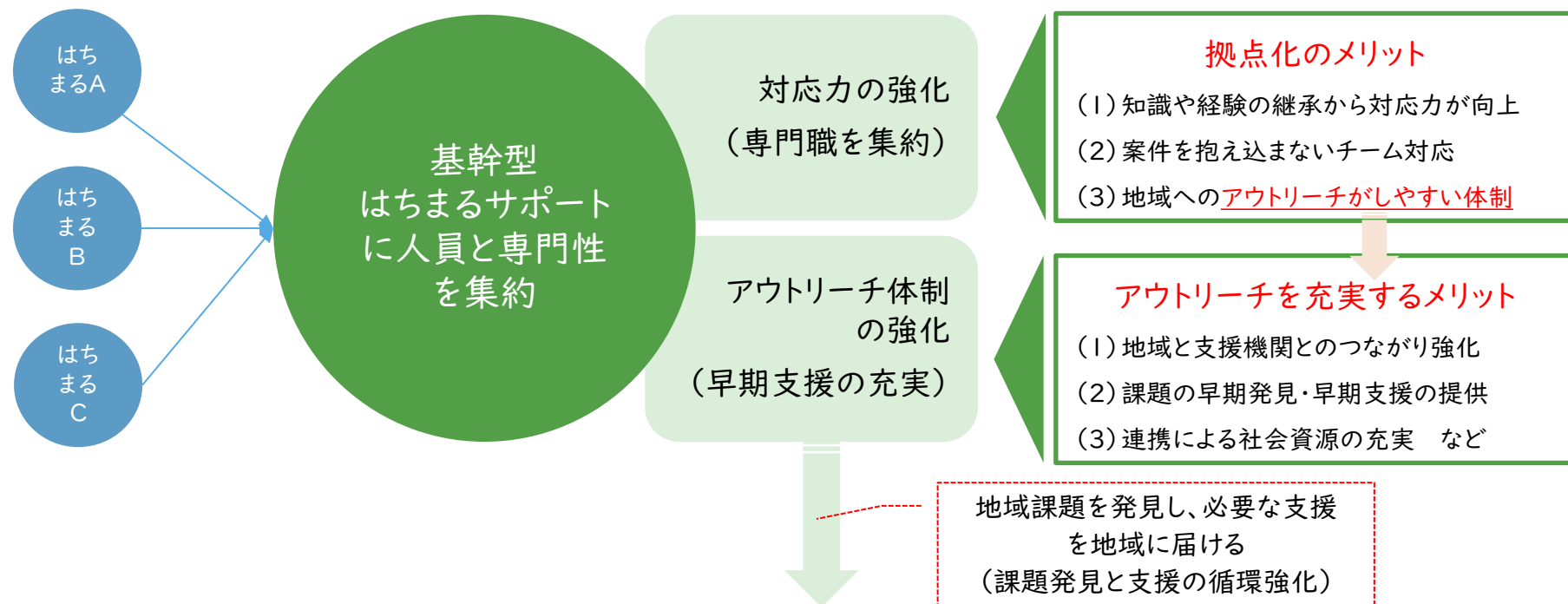
はちまるサポートの段階的な拠点化による支援体制の強化

～基幹型はちまるサポートの拠点化～

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

市内13か所に設置した「はちまるサポート」を6か所(基本計画に定める6地域)に集約し、専門支援の対応力向上を図るとともに、地域へのアウトリーチを中心とした能動的な活動を充実する。

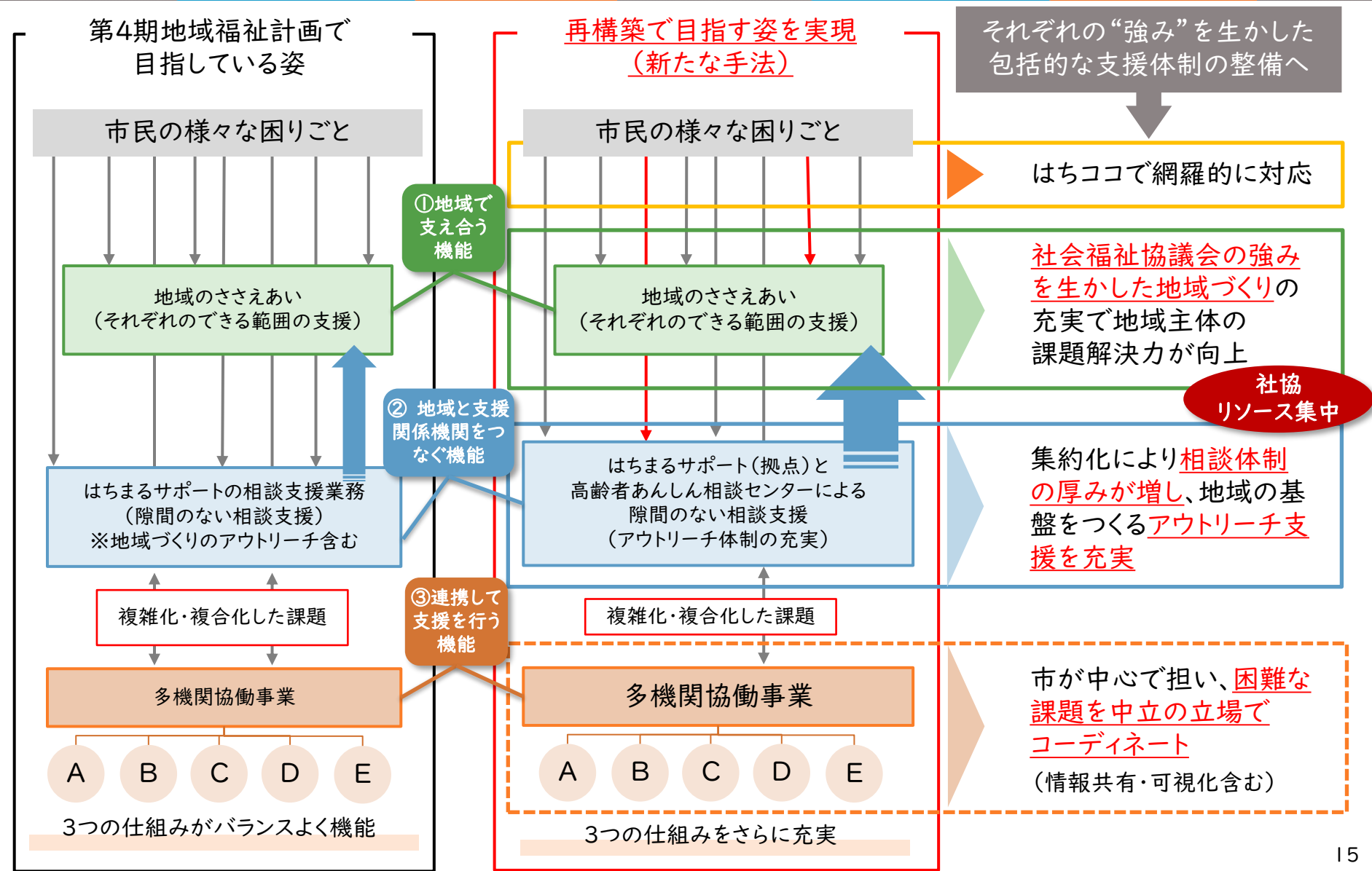
(社協の強みを生かした地域福祉の推進を図る再構築)



社会福祉協議会の強みを生かした“つながり”づくり

“課題の種”を発見するための地域活動支援や居場所づくり等、地域との顔の見える関係づくりを充実
⇒ 結果的に、はちまるサポートの認知度が向上し、課題の早期発見、早期支援につながる

新たな手法で進める重層的な支援体制整備



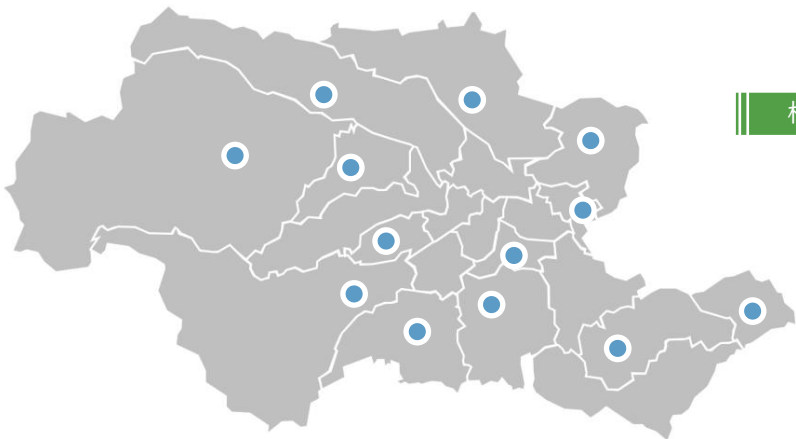
相談窓口(はちまるサポート・高齢者あんしん相談センター) の設置イメージ

※【拠点】の場所及び分野横断的な対応については今後検討

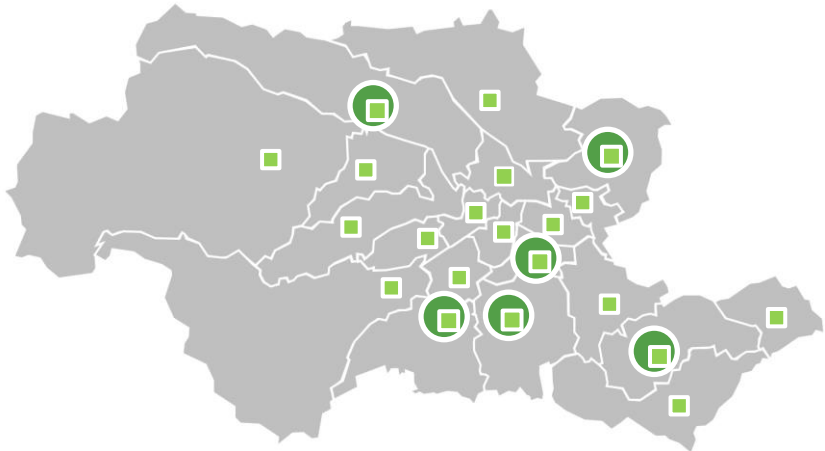
令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

はちまるサポートの集約化による「拠点」を6か所設置し、専門人材の力を結集・育成を強化する。
また、既存の高齢者あんしん相談センター(21か所)の相談範囲を拡充することで、分野横断的な相談支援が提供できる身近な窓口を充実する。

分野横断的な相談: はちまるサポート 13か所
(多機関協働事業をあわせて実施)



分野横断的な相談: はちまるサポート 6か所に加え、高齢者あんしん相談センター 21か所の包括化を検討
※高齢者のみの相談から属性を問わない相談に拡充

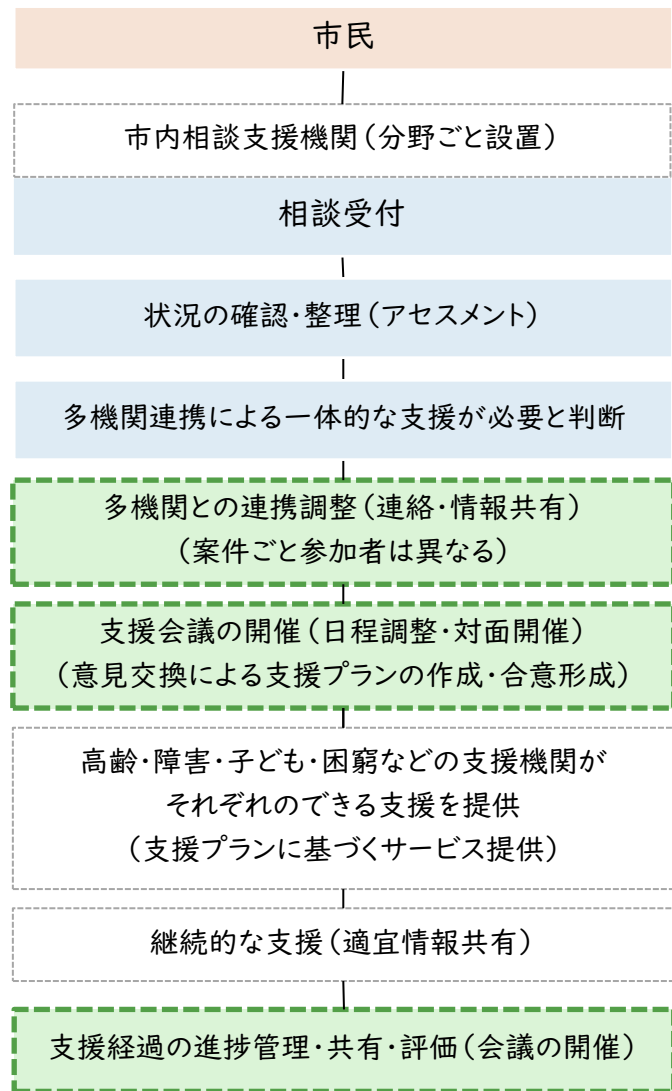


今後の設置イメージ(想定)	マーク
【拠点】はちまるサポート	
地域あんしん相談センター(仮称) ※名称変更も検討	

多機関協働事業の直営化による円滑な支援調整 ～市所管との連携体制を強化～

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

<多機関連携による支援フロー>



支援フローの一部分を市が直営で行う狙い

市職員
(専門職)

事務の集約化及び専従化

ICT活用で事務を効率化・
多機関の支援状況を可視化

市組織間の連携体制強化

市民への効果 連携調整の時間が短縮され、支援が早く届く

現場への効果 はちまるサポートが、市民への支援に注力できる

市への効果 横断的に共感機会が増え、連携しやすくなる

八王子市
(福祉部)

密接な連携
現場での連携
技術の習得
知識・経験

社会福祉協議会
(はちまるサポート所
管部署)

培ってきたノウハウの継承・市福祉人材のスキルアップ

生成AIが個々の悩みに“共感”し、 公的機関とのつながりを充実

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

潜在化する悩みを窓口“つなぐ”全市民が公的支援にアクセスできる仕組み

～だれでも・どこでも・いつでも公的支援に“つながる”機会を得る「潜在化する課題の早期発見・早期支援」～



- スタートアップ企業との共創により費用負担なしで実証事業を実施
- 公的な窓口につながりにくい30～50代の利用が多いことが判明し、有用性を確認(延べ相談件数:1,243件、満足度95.6%)
- 実証事業の結果、生活課題の早期発見・早期支援や公的な窓口につながりやすくなる効果が確認できた。

実証実験ではパイロット版のため個人を特定する機能が付加されていなかった…

実装では、本人希望で窓口から直接アプローチすることが可能

**潜在的な課題を幅広く発見でき、誰でも公的支援と
つながる有力なツールとして導入する**

参考:本格導入時の主な追加予定機能

- (1) サービス、支援機関や社会参加情報等の独自情報を学習して案内
- (2) 本人希望で個人情報を取得し、支援機関から直接連絡する機能を追加

はちまるサポートの相談に限らず、他の支援機関(他部署)の相談支援でも活用可能

中間見直しの視点3-①

1. 地域で「支えあう」意識と活動の醸成(市民力・地域力の充実)

視点1 地域の学び・活動機会や参加機会の充実(関係所管と連携した個人と地域をつなげる取り組みの充実)

視点2 地域コミュニティや助け合い活動(生活支援・防災等)の活性化支援の充実(課題解決力の向上)

2. 持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

① 専門支援体制の強化と人材育成

視点1 はちまるサポートの拠点化による専門支援の強化と既存窓口の包括化による相談環境の充実

視点2 「多機関協働事業」の直営化による連携支援体制の強化(社協への派遣による人材育成)

② 早期発見・早期支援へのつなぎ強化

視点1 生活課題の早期発見・早期支援へのつなぎに向けたアウトリーチ支援体制の強化

視点2 AI等の技術を活用した、いつでもどこでも相談できる環境の整備

3. 生活課題の深刻化を防ぐ「予防型」福祉行政の基盤づくり

① 根拠に基づく施策立案(EBPM)や評価の推進

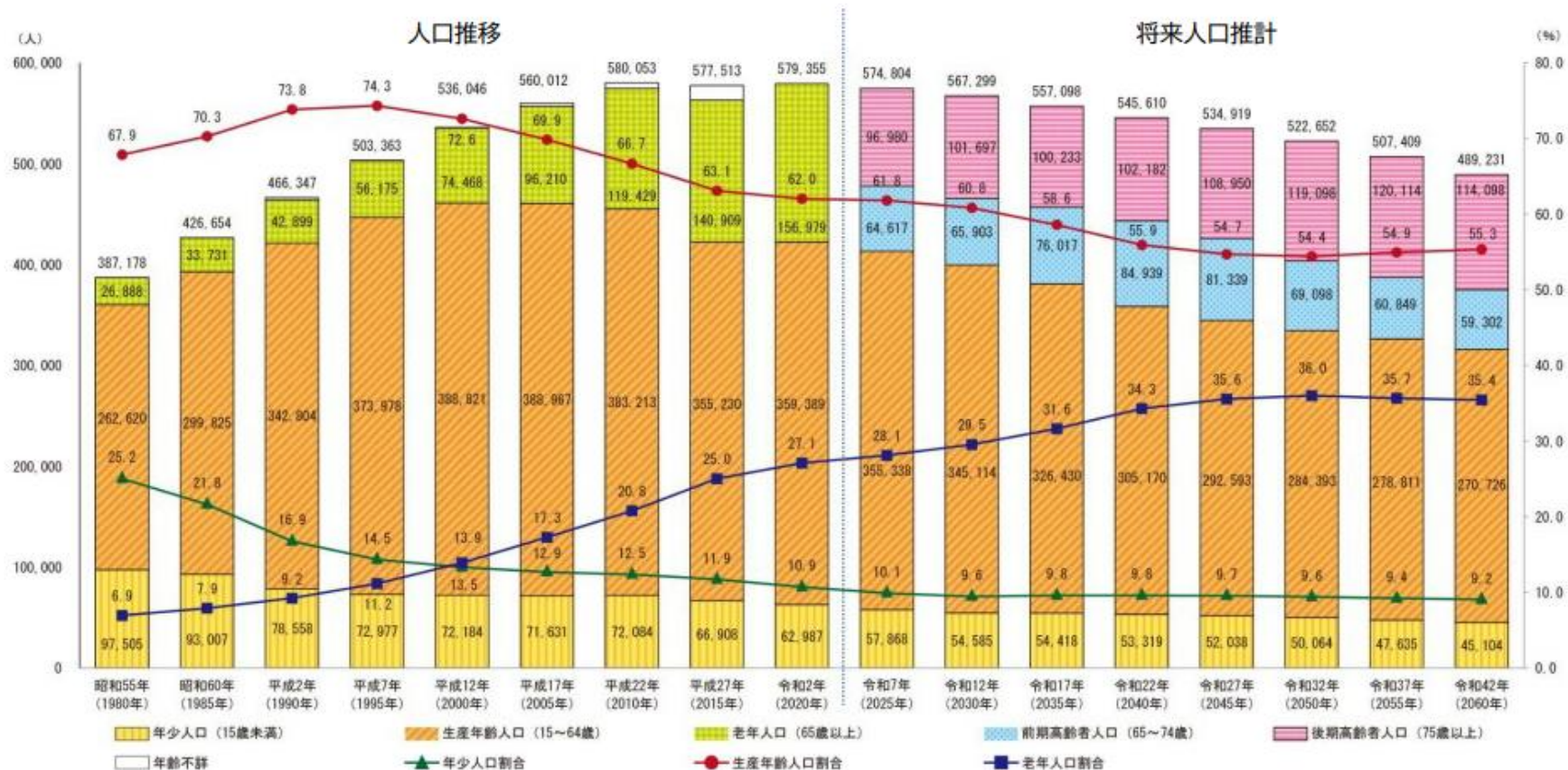
分野横断的な福祉データの分析に基づく事業展開(根拠に基づく施策の推進)及びロジックモデルを使った事業評価

② 社会の変化により新たに取り組む必要がある事業の実施

身寄りのない高齢者等の支援(終活や死後事務等)など、予定される制度改正や関連計画の改定により、取り組みの整合を図る必要が生じたもの

「予防型」福祉行政の背景(八王子市の人口推移)

将来人口については、年少人口、生産年齢人口は令和42年(2060年)にかけて減少する一方で、老年人口は令和27年(2045年)にかけて増加し、その後減少に転じると推計



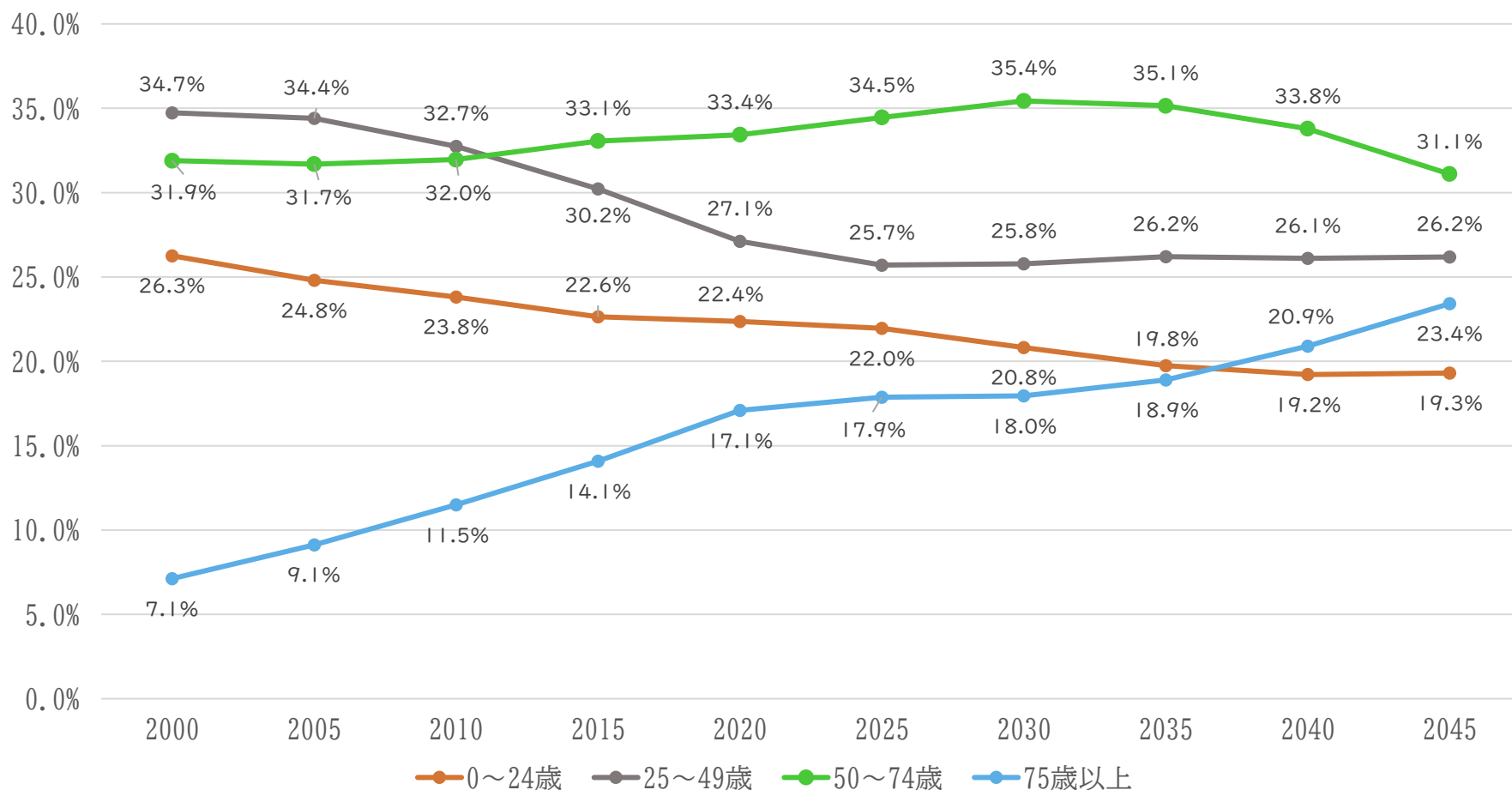
※人口推移は国勢調査による実績値です。令和2年(2020年)の人口内訳は年齢不詳人口をあん分により補完した人口になります。

※人口割合の数値は、年齢不詳を除いて算出しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

※「八王子未来ビジョン2040」人口推計より抜粋

「予防型」福祉行政の背景(八王子市の人口推移)

50～74歳で区切った場合の年齢区分別人口構成の割合推移(八王子市の人口推計から)



【健康づくりを起点とする予防型の事業運営にシフトする理由】

74歳までを生産年齢ととらえると、50～74歳までの比率はあまり下がらない

→ 消費者だった高齢者が生産者になれる仕組み(生産年齢人口を低下させない)

分野横断的データ活用による 福祉施策の高度化

令和7年度第4回地域福祉
専門分科会 資料(再掲)

分野横断的な 福祉関連データの 集約

- 【例】
- ・介護・障害・子ども・生活困窮等のデータ
 - ・医療・保健など関連分野データ
 - ・相談記録、給付実績、事業参加状況 等

データ統合・分析

- ・データの突合・統合
- ・指標化・KPI設定
- ・傾向把握・可視化

客観的根拠(Evidence)
に基づく事業分析

事業自評価への活用

- ・施策・事業効果の検証
- ・対象者・地域別の成果把握
- ・課題抽出と改善点明確化

施策立案・展開への 活用

- ・課題に応じた施策設計
- ・重点化・資源配分の最適化
- ・次期計画・施策への反映

分野を超えたデータ活用により、実効性が高く、説明責任が果たせる福祉施策を
推進(計画の評価にも活用していく)

本日の流れ

1 はじめに

前回の議論を踏まえた、

第4期地域福祉計画中間見直しの方向性について

2 議題

第4期地域福祉計画の中間見直しにおける

新たな取り組みの必要性について

中間見直しの視点3-②

1. 地域で「支えあう」意識と活動の醸成(市民力・地域力の充実)

視点1 地域の学び・活動機会や参加機会の充実(関係所管と連携した個人と地域をつなげる取り組みの充実)

視点2 地域コミュニティや助け合い活動(生活支援・防災等)の活性化支援の充実(課題解決力の向上)

2. 持続可能な重層的支援体制整備事業の推進

① 専門支援体制の強化と人材育成

視点1 はちまるサポートの拠点化による専門支援の強化と既存窓口の包括化による相談環境の充実

視点2 「多機関協働事業」の直営化による連携支援体制の強化(社協への派遣による人材育成)

② 早期発見・早期支援へのつなぎ強化

視点1 生活課題の早期発見・早期支援へのつなぎに向けたアウトリーチ支援体制の強化

視点2 AI等の技術を活用した、いつでもどこでも相談できる環境の整備

3. 生活課題の深刻化を防ぐ「予防型」福祉行政の基盤づくり

① 根拠に基づく施策立案(EBPM)や評価の推進

分野横断的な福祉データの分析に基づく事業展開(根拠に基づく施策の推進)及びロジックモデルを使った事業評価

② 社会の変化により新たに取り組む必要がある事業の実施

身寄りのない高齢者等の支援(終活や死後事務等)など、予定される制度改正や関連計画の改定により、取り組みの整合を図る必要が生じたもの

「地域共生社会」の実現に向けて

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す。



「地域共生社会」の実現に向けて

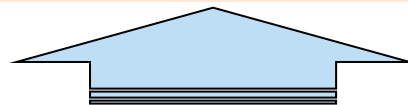


計画P.71

1-1-4 多様な主体と連携して解決する「共創」の推進

行政や社会福祉協議会、地域住民だけでなく、民間事業者や大学なども暮らしを支える大きな主体のひとつととらえ、産官学の「共創」で地域生活課題の解決を目指す地域プラットフォーム※を充実します。

2040年を見据えた「地域共生社会」の深化



着実な推進に向けて、2030年までにどのように取り組むか？

小さな力が集まって、社会を大きく動かすために…

共 創

D X

計画P.111

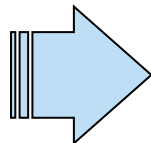
▼デジタル技術を活用した地域共生社会の実現▼

人口減少や地球温暖化など様々な社会環境の変化が見込まれる中、環境・社会・経済の持続可能性を向上させるためにはDXが必要です。デジタル技術の活用により、人とひととの“つながり”を深めていくことで、誰一人取り残されることなく地域の中で支えあい、豊かな暮らしを実現していく、「地域共生社会」を目指します。

出典：未来デザイン2040「変革のキーワード」より

共創やDXの考え方を念頭に置きつつ…

社会の変化への対応



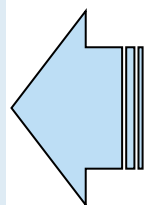
新たな取組や、取組強化の必要性

社会変化に対応した中間見直しのポイント

新たな取組についての論点整理

① 複合化・複雑化した課題への対応

- ・ 8050問題
- ・ 孤独孤立対策
- ・ 精神障害にも対応し得る地域包括ケアの構築



はちまるサポートの拠点化を進める上でもポイントとなる課題

② 避難行動要支援者（災害対策基本法等の改正を受けて）

多様な主体と連携し、災害時における避難行動要支援者への支援の充実を図るとともに、日常の見守りや相談、平時の支援関係づくりといった地域福祉の取組を通じて、災害時にも支援が途切れにくい地域の基盤を整えていくことが重要

③ 人生の最終段階を見据えた支援（厚労省通知を踏まえた、終活等に関する支援）

本人の意思や価値観を尊重し、分野を超えて支援につなぐ

- ・ 終活
- ・ 死後事務
- ・ ACP

議論のポイント

- ・ 上記①～③で社会変化への対応は十分か
- ・ 見落としている課題はないか
- ・ 既存の取組のうち、強化すべきものはあるか